

**『武雄市公共施設等個別施設計画一部改訂（案）』
（武雄市文化会館大ホール整備方針の見直しについて）
のパブリックコメントに寄せられたご意見を公表します**

武雄市では、文化会館大ホールについては、利用状況の変化や事業費高騰などを踏まえ、市民会議等により意見聴取を実施し、整備方針（案）を「長寿命化」から「廃止・解体」へ見直しました。

これにより、武雄市公共施設等個別施設計画の一部改訂（案）を作成し、広く市民の皆様のご意見を反映させるためパブリックコメントを実施しました。今回、パブリックコメントに寄せられたご意見を公表します。

○資料の閲覧

公表資料

- ・意見公募手続き（パブリックコメント）に寄せられたご意見の公表について
- ・ご意見の概要（別紙1）
- ・ご意見の全文（別紙2）

*主な内容

- ・ご意見の提出件数 142 件
- ・文化会館大ホールの整備方針について
改めて関係団体等へご説明し、ご意見を伺ってきましたが、
現時点での結論には、もう少し時間が必要であると判断いたしました。

閲覧場所

たけおポータル

<https://www.city.takeo.lg.jp/information/2025/09/014883.html>

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武雄市 総務部 財政課 資産活用係 TEL 0954-23-9320

こども教育部 文化課 新文化交流拠点整備室 TEL 0954-23-9181

意見公募手続き（パブリックコメント）に寄せられたご意見の公表について

1. 案件名：武雄市公共施設等個別施設計画（全体編）一部改訂（案）

（武雄市文化会館大ホール整備方針の見直しについて）

2. 意見の募集期間：令和7年5月14日（水）～6月12日（木）

3. ご意見の提出件数等：142件

今回のパブリックコメントにつきましては、市内外から多くの皆様にご意見をいただきました。

特に日頃より文化振興に携わっている団体の皆様や活動団体に所属する子どもたちから、文化会館大ホールや舞台への思いを届けていただきました。

ご意見の概要については、大ホール棟廃止（解体）方針に対して、存続を望むご意見やプロセスの不透明性、文化・歴史的価値のある建物の喪失などに関するご意見が提出されました。

そのほか代替案を具体的に示してほしい、中規模ホール等を整備してほしいなどのご意見がありました。

また改修費・維持費増大への懸念や代替施設の活用の可能性から大ホールの廃止を望むご意見等がありました。

ご意見の概要については（別紙1）のとおりです。

ご意見の全文は（別紙2）のとおりです。※個人情報を除く

ご意見の概要	件数	うち件数	提出者住所・団体等所在地			
			市内	市外	県外	不明
方針見直しに反対のご意見	121		73	25	7	16
うち大ホールの存続		99				
うちプロセス等		22				
うち建て直し等		17				
方針見直しに賛成のご意見	18		8	0	0	10
その他	3		0	2	0	1
合計	142		81	27	7	27

※うち件数の合計については、件数と一致しません

4. 文化会館大ホール整備方針について

文化会館大ホールの整備方針見直しにつきましては、市議会のご意見を踏まえ、市民や有識者の方々への意見聴取、関係団体への説明を経て、庁内で検討を進めてきました。その結果、大ホールの利用状況や周辺環境の変化、改修費用の高騰、改修後の維持管理費などを十分に考慮し、他施設の機能強化を含めた利活用も踏まえ、「長寿命化」から「廃止・解体」へと方針を変更しました。

しかしながら、この方針決定に至るプロセスや説明が十分でないのご意見、また他施設の活用に対する疑問など、多くのご意見が寄せられました。改めて関係団体等へご説明し、ご意見を伺ってきましたが、現時点での結論には、もう少し時間が必要であると判断いたしました。

今後も、これからの文化施設や文化振興のあり方について、幅広くご意見を伺いながら検討を進めていく所存です。

その上で、最終的な方針を決定し、改めてご報告させていただきますので、ご理解をお願いいたします。

番号	ご意見の概要
1	<p data-bbox="225 221 1299 255">武雄市文化会館大ホール棟の存続を望む意見（プロセスの不透明性などについて）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="153 300 1337 367">・大ホール改修から一転して取り壊しが決定された、市民の意見を聞かずに一方的である。重要な判断にもかかわらず、市民への説明が極めて不十分である。 <li data-bbox="153 398 1315 465">・関係団体からの意見聴取を行ったとされるものの、その結果や意見がどのように検討・反映されたのかが市民には開示されていない。 <li data-bbox="153 497 863 530">・多くの人が納得できるプロセスと姿勢が必要である。 <li data-bbox="153 562 1326 629">・文化サークル関係者への意見聴取の場での市側の説明が廃止解体ありきであり、納得のいくものではなかった。 <li data-bbox="153 660 1299 728">・小ホール解体時に大ホールは残すと説明されていたにもかかわらず、今回その前提が覆された、だまされたようだ。
2	<p data-bbox="225 797 1299 831">武雄市文化会館大ホール棟の存続を望む意見（文化・歴史的価値ある建物の喪失）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="153 875 1353 943">・ホールをなくすことは市民の心に芽生えた芸術の芽を摘み、心の豊かさを失わせることに繋がる。 <li data-bbox="153 974 1043 1008">・小ホールの解体に続き大ホールまでなくなれば、文化が衰退する。 <li data-bbox="153 1039 1353 1128">・武雄市民にとっての文化拠点であるだけでなく、西九州エリアにとっても様々な文化活動を支えてきた貴重な公共空間であり、西九州全体の文化活動や公共ホールのネットワークという観点からも、損失である。 <li data-bbox="153 1160 1299 1227">・世界の小澤氏が認めたほどの音響を持つホールの解体は、一流の芸術に触れる機会が失われ、武雄の文化の大損失である。 <li data-bbox="153 1258 1353 1326">・子どもや若い方の文化を高めるためにも是非残してほしい。中学校や高等学校の音楽関係行事等が困らないようにしてほしい。 <li data-bbox="153 1357 1129 1391">・武雄市が掲げてきた「文化都市」としてのアイデンティティが失われる。 <li data-bbox="153 1422 1353 1512">・新幹線開通や大学開学による若者呼び込みの動きと、大ホール解体方針が『成長する文化づくり』『文化に関わる人づくり』『文化によるまちのにぎわいづくり』とは逆の構想である。 <li data-bbox="153 1543 1129 1576">・経済対効果で文化芸術は測れない、芸術文化を守るのが市の役割である。

3 武雄市文化会館大ホール棟の存続を望む意見（代替案・将来展望への懸念や要望）

- ・解体後の土地活用はどうなるのか。
- ・文化施設に限らず、他の公共施設の活用及び必要に応じて機能強化を図っていくことで対応したい、とあるが具体的に述べていただきたい。
- ・大ホールの解体によって、今後の文化活動については、まったくビジョンが見えない。大ホール利用者への活動の場はどのように確保されるのか。
- ・新設予定の多目的ホールについては、現ホールとの規模が大きく異なり、大人数の発表に対応できない。音響や照明、反響板もなく機能不足である。
- ・北方文化ホールではステージが狭すぎるため、吹奏楽の演奏会などで2グループに分かれなければならない。
- ・北方文化ホールの舞台の広さを変えることは現実的ではない。音響・空調、アクセスの悪さ、時期によっては町民ファーストで使いづらいこともあり、大ホールや小ホールの代替は出来ない。
- ・北方文化ホールもかなり古い施設なので改修して長く使うのには無理がある。
- ・ケーブルワン・スポーツパークは舞台、音響設備等がなく代替施設にはならない。
- ・新文化交流施設にできるという多目的ホールについては、多角形型のつくりや施設設備が不明なため、判断材料が足りない。

4 武雄市文化会館大ホールの存続を望む意見（稼働率への疑問）

- ・コロナ禍の影響を受けている時期の稼働率データをそのまま判断材料とすることは適当ではない。
- ・近隣にSAGAアリーナや鹿島市民文化ホールがあることと、稼働率の低下は直接の関係はないと思われる。魅力ある催しがあれば稼働率は上がる。
- ・稼働率向上には、市の積極的誘致活動や専門的人材の配置が必要である。市は稼働率を上げる十分な努力をしてこなかった。
- ・長寿命化の方針時から稼働率の低下があるが、再整備して利用率を上げる努力をしていくということであった。

5 武雄市文化会館大ホールの存続を望む意見（近隣施設状況への疑問）

- ・SAGAアリーナ（8000～1万人規模）や鹿島市民文化ホール（800席規模）は、規模や音響、利用形態が武雄市文化会館大ホールとは異なり、適切な代替施設ではない。
- ・SAGAアリーナや鹿島市民文化ホールは、武雄市から見て近隣とは言えない。市民の利用には適さない。
- ・鹿島市にも鹿島市民文化ホールができたが、西九州新幹線開通等を生かし、1000人規模の誘致が可能になるのではないか。
- ・過去には周辺施設があっても武雄にホールが必要と説明していたのではないか。

6	武雄市文化会館大ホールの存続を望む意見（財政問題等への疑問）
<ul style="list-style-type: none"> ・費用が高いからと早々に見切りをつける姿勢は、行政の判断として疑問である。 ・財政難を理由に大ホールを壊す一方で、武雄アジア大学構想には13億円を支出するという判断は理解できない。文化施設が軽視され、他のプロジェクトが優先されている。 	
7	武雄市文化会館大ホールの存続を望む意見（資金調達等への提案）
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな資金調達方法の検討はできないか（クラウドファンディング・ふるさと納税の活用） ・他市のホールを利用したまちおこしに事例や地方創生やビジネスのアイデアを流用し、ゼロベースで自由に文化施設を持てる形を検討できないか。 	
8	武雄市文化会館大ホール建て直し等を望む意見
<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールとまではいかなくとも、500人程度の音響の良い施設や、中学校や高等学校の吹奏楽部が乗れる位のステージを持つ1000席位の音楽ホールの建設を求める。文化振興の拠点として整備されるべき。 ・大ホール改修に充てていた費用や北方の改修費用で、中規模のホールを建設することはできないか。 ・中ホール程度の規模で残すべき。 ・解体されても、新しく大ホールのような夢をかなえる、子ども達の目標となるような場所を作してほしい。子どもたちの文化活動の場を確保してほしい。 ・地域の文化拠点としての役割を果たす存在として、武雄市にふさわしい舞台と客席を持つホールが必要である。 ・新設予定の多目的ホールを、文化活動の質を向上させるために、音響効果が得られるホールへ改善を要望する。 ・中ホールの建設か、多目的ホールをもう少し大きくして音響照明等整えたものに変更してもらいたい。既存の体育館などでは代替が困難である。 ・大ホール解体ありきで進めるのではなく、新施設の全体計画を見直すべき。 ・敬老会などが開催できる施設の武雄町への設置を希望する。 	

- ・ 500人規模の北方文化ホールがある、既存施設や新たな多目的スペースで対応できるのではないか。
- ・ 北方文化ホールもいずれ古くなるので、その時にホールが必要か考えるべき。
- ・ 文化、芸術、エンタメの伝え方、実施方法も多岐になっている、これからの維持費等を考えると解体も仕方ないかと感じる。
- ・ 文化施設に特化した施設より、大規模会議等に対応できる施設の設置を希望する。旧文化会館、大学、スポーツパークといった既存施設と連携することで、効率的な活用が可能になる。
- ・ 利用が見込めない建物に多額の費用をかけることは避け、まずは市民の生活を最優先に税金を使ってほしい。
- ・ 維持管理費には多額の財政支出が伴う、次世代への負担を残さないためにも大ホールの廃止に賛成する。
- ・ 文化会館ができた当時は九州内でも一番大きいホールだとは聞いたことがあるが、今はだれも来ない時代遅れのホール。あればいいと思うが武雄市に本当に必要なのかは慎重に考えるべきだと思う。

ご意見（パブリックコメント）の全文（別紙2）

番号	ご意見
1	<p>大ホールができた当時は、全国的にも音響の優れた施設としてウィーンフィルハーモニー交響楽団が来たり、レコード大賞を取った年のクリスマスに沢田研二がコンサートをしたりと武雄市に住んでいながら文化的に高いレベルの芸術に触れることができました。こどもながらにとても良い思い出です。これまであった大ホールのキャパは武雄市に必要なと思っていますが、なくしてしまうということには心配があります。個人的には500人程度の収容で音響の良い施設ができればいいと思っていました。個人の意見としては建て直し派です。</p> <p>「大ホールがこれまで担ってきた役割については、文化施設に限らず、他の公共施設の活用及び必要に応じて機能強化を図っていくことで対応したい。」（以下☆☆と表記）とありますが、あまりにぼんやりとした記述内容で、これでは市文化会館が担ってきたような施設は武雄市にはなくなってしまうのだろう、という漠然としたあきらめ感が漂います。</p> <p>周辺の他の自治体にあるから武雄市には必要ない、という考えも理解できますが、住民の生活や子育ての環境から考えても、スポーツ施設と文化会館的なものは魅力ある施設が必要です。これらと触れ合うことで住民の生活が潤い、また故郷に対する誇りも芽生ええると思います。</p> <p>武雄市文化会館をなくしてしまうということへの再考、あるいはそうでなければ☆☆ということについてもっと具体的に述べていただきたいと思います。</p>
2	<p>武雄市文化会館は改修から一転、解体方針とのこと、とてもショックです。改修されて再開するものと信じて別れを惜しみ、期待して楽しみに待っていたのに、文化会館を利用してきたたくさんの方の市民の気持ちを置き去りにするのですか？ 武雄市文化会館は、小さい町ながら、近隣のホールにも引けを取らないくらい立派なホールがあり、50年もの間、周辺地域の文化芸術を牽引し、象徴してきた、自慢できる場所だと思っています。日本のみならず、世界の著名な演奏家や団体も多数公演され、地域の音楽活動の演奏の場としても幅広く利用されていて、武雄市は文化芸術に理解のある自治体だと誇りに思っていました。とても残念でなりません。武雄市では近年、小中学校でのアウトリーチコンサートや、音楽のまちプロジェクトなど、無料で誰でも気軽に音楽に触れられる企画を実施されていますよね？それはとても素晴らしい活動だと思います。コンサートというと、とても敷居が高く、お金をかけて長時間座って静かに音楽を聴くことは、なかなか足が向きませんが、アウトリーチコンサートや音楽のまちプロジェクトでは、小さな子どもから大人まで、無料で短時間で楽しむことができ、近くで楽器を見たり触れたり、演奏者と話をしたりすることもできて、そういった体験は、大人にも子どもにもとてもありがたい機会です。芸術に触れることは、豊かな感受性を育てます。音楽を知らなくても、心揺さぶられ、感じるものがあるはず。アウトリーチコンサートや音楽のまちプロジェクトをきっかけに、もっと聴いてみたい、実際にホールのコンサートにも足を運んでみようと思っても、近くにホールがないと、また足が遠のいてしまいます。せっかくの良い機会を作っているのにもったいない！だから、ホールを残してほしいのです。武雄からホールをなくすことは、市民の心に芽生えた芸術の芽を摘み、心の豊かさを失わせることに繋がるのではないのでしょうか？今武雄市に作られようとしている、市民の反対の声も多い私学の建設にお金を投じるより、市民が要望する文化施設にお金をかけて欲しいです。どうか、どうか、よろしく願います。思いが伝わりますように…</p>
3	<p>まず、大規模改修で決定していた文化会館大ホールの工事の予定が改修費増大のためとは言え議会や市民への意見も聞かずに取り壊しが決定しているというのはどう考えてもおかしいと思います。ここ数年は建設費の高騰が目に見えて目立ってきています。この改修費用もその辺りを含んでの決定だったのではないのですか？もし、そこを考えずに決定していたとすればそれ自体問題だと思います。そして、民間の4年制大学誘致を強行されていますが、現在市民や全国の有識者の方々から疑問の声が多数上がっているのに武雄市は明確な返答すらしていません。</p> <p>県立大学や市立大学でしたらまだ検討の余地があるかと思いますが、財政状況が危険な状態の民間の学園で、そちらには武雄市から13億円の予算がついているのも異常です。</p> <p>その大学問題には「財政上の問題はない」と何故か小松市長が言及し、50年の歴史を持つ武雄市の文化の発信地である文化会館大ホールには9億円の追加工事費が必要と言うだけで解体決定。これは本当に異常な状態です。席数が少なく使用頻度が高かった小ホールは既に解体されありません。これで大ホールまで無くなると今まで育ってきた武雄市の文化が衰退すると思います。故・小澤征爾氏が「このホールで録音したい」と言われた音響のホールですよ。</p>

4	<p>武雄市文化会館大ホールの突然の解体方針に発表に違和感があり、意見します。まず、この重要な判断について、市民への説明が極めて不十分です。限られた情報源でしか報じられず、気づいた時には「もう決まっていた」と感じる市民が多いのではないのでしょうか。公共施設に関する方針転換であれば、もっと開かれた形で情報共有し、意見を聞くべきです。</p> <p>また、「財政難」を理由に大ホールを壊す一方で、武雄アジア大学構想には13億円を支出するという判断は到底理解できません。文化活動の拠点を失う地域の損失は計り知れず、予算の優先順位があまりに不透明です。この際、大学誘致そのものも撤回すべきです。副市長を2人にしたのも、市民に十分な説明なく行われた印象で、信頼を損なう要因となっています。説明責任を果たし、市民に開かれた市政運営を望みます。小松市長のリーダーシップに期待しているからこそ、耳の痛い声にも向き合っていただきたい。今回のパブリックコメントに寄せられた全ての意見について、個人情報を除いた上で公表されることを強く求めます。</p>
5	<p>隣県から失礼します。文化会館大ホールの廃止・解体方針について、SNSなどで情報をいただいております。当該ホールは、武雄市民にとっての文化拠点であると同時に、私たち長崎県民を含む西九州エリアにとっても、コンサートや演劇、講演会など様々な文化活動を支えてきた貴重な公共空間です。そのホールが、「改修費が膨らんだ」という理由で、十分な議論や代替策の提示もないまま廃止・解体されるのは、非常に残念でなりません。一方で、一民間企業が行う「武雄アジア大学」に対しては、すでに13億円という巨費の投入が行われており、市役所内部機構も強化するなど行われているということは、市民に納得のいく優先順位とは思えません。西九州全体の文化活動や公共ホールのネットワークという観点からも、今回の施策（方針転換）は大きな損失だと感じています。あわせて、今回寄せられるすべてのパブリックコメントについては、個人情報を除いた上でその意見内容を公表し、市内外のより多くの人々がこの議論を共有・発展すべきではないでしょうか。西九州エリアとしてみると貴台だけにとどまらない広域的な課題だと思います。住民や利用者との丁寧な対話を経た上で、あらためてこの施設の公共的価値を見直し、別の形で存続の道を探っていただくことを望みます。</p>
6	<p>私は鹿島市在住ですが、日常的に武雄市を訪れており、買い物やイベント、文化行事を通じて、武雄のまちや文化会館の大ホールをこれまで幾度となく利用してきました。地域を越えた多くの人々が親しんできたこの大ホールの廃止・解体方針が打ち出されたことに、強い違和感と深い憤りを感じています。文化会館の大ホールは、単に武雄市民のためだけの施設ではなく、広域の住民に開かれた公共の文化拠点として、長年にわたり大きな役割を果たしてきました。そのような大切な空間を、「維持費がかかるから」といった理由だけで簡単に廃止・解体しようとするのは、あまりにも短絡的で、公共施設のあり方として極めて不適切です。一方で、未だ文部科学省の認可すら下りていない「武雄アジア大学」に対しては、すでに13億円もの巨額の公費が投じられています。にもかかわらず、市民に長年親しまれてきた文化の象徴には、ほとんど手を差し伸べようとしない現状は、税金の使い方として著しくバランスを欠いており、政策判断としても極めて疑問です。文化は、まちの誇りであり、人々の心を豊かに育む大切な土壌です。その文化を支えてきた施設を、十分な代替案や市民への説明もないまま、「解体ありき」で進めるような姿勢には、到底納得ができません。また、市に寄せられた意見については、形式的に受け止めるだけでなく、個人情報を除いた上で内容をしっかりと公開し、議論の過程を市民が確認できるようにすべきです。私は市外の住民ではありますが、武雄の文化を大切に思う一人として、この大ホール解体方針に強く反対します。どうか市民や地域の声に真摯に耳を傾け、税金の使い道、そしてまちの未来について根本から再考していただくよう、強く求めます。</p>
7	<p>今後は大ホールで行ってきた市のイベントは鹿島市で行うということなのか？稼働率の低下というがホール使用の事前準備にも利用者のコストがかかる中、月1件位の利用率を少ないと評価するのはちがう。大ホールが担ってきた役割を北方文化ホール等で活用できるとは、休館中で使用できない現在、イベントの開催状況を見ていて思えない。</p>
8	<p>武雄市文化会館の大ホールを廃止・解体するという方針について、福岡県に住む若手経営者として強い違和感を覚えています。私はこれまで何度か武雄を訪れたことがあり、「公民連携が上手で、新しいことに前向きな自治体」という印象を持っていました。図書館の取り組みなども全国的に知られており、「市民と行政が一緒にまちをつくる姿勢」がとても印象的でした。</p> <p>だからこそ今回、武雄市が文化会館の大ホールを「費用がかかるから」という理由だけで廃止しようとしていると知り、正直とても驚きました。武雄のような先進的なまちなら、市民と一緒に改修の可能性を探ったり、企業やNPOと連携して何か方法を見つけ出すのではないかと考えていたからです。しかも、文科省の認可も下りていない大学構想には13億円が支出され、副市長2人体制は維持されているという現状を見ると、本当に必要な支出の優先順位がどこにあるのか疑問に思ってしまう。文化施設は、ただの建物ではなく、まちの人たちの思い出や活動の積み重ねが詰まった場所です。それを急いで壊してしまうのではなく、もっと柔軟に、そしてオープンに選択肢を探ることが、かつて私が魅力を感じた「武雄市らしさ」ではないのでしょうか。あわせて、今回のパブリックコメントに寄せられた意見については、どんな意見があったのかを後から市民や外部の人が確認できるように、個人情報を除いた形で公表していただきたいです。そうした透明性のあるやり取りこそが、信頼される市政につながると感じています。</p>

9	<p>武雄市文化会館大ホールの解体については、昨今の建設費の高騰を考えるとやむをえないことかと思えます。しかしながら、西九州の交通の結節点として、今、人が集まる市にしなければ、長期的には周辺市町の中に埋没していだけになると危惧します。当初想定された事業費と、新たに算出された事業費との差額がおよそ14.3億円。一方今度新設される武雄アジア大学への市の補助金が13億円と聞くと、私立の学校法人にはお金を出しても市民のためにお金は出せないのかと残念に思えます。また、文化庁が進めるコンセッション方式などの民間資金を活用する方法がどれだけ検討されてきたかも、佐賀新聞などを見る限り伺い知ることができません。文化会館から大ホールがなくなるという結論を、文化団体やサークル団体から意見を聞いたうえで決めたということですが、大ホールの利用者は舞台の上に立つ団体だけでしょうか。客席に座る市民は利用者ではないのでしょうか。イベントの減少の原因は何か検証したのでしょうか。周辺の施設もSAGAアリーナは大きすぎ、鹿島市民文化ホールは少し小さく、完全に競合するものではなく、老朽化が原因ではないのでしょうか。すべてが結論ありきで進んでいるように見えます。その結論も、本当に市民のためを思っているのか疑問です。今一度再考を求めます。</p>
10	<p>知人より武雄文化会館大ホールが解体されることを、聞きました。改修工事をされるとばかり思っていましたら、とても残念です。予算の関係もあると思いますが、佐賀県内では、武雄市はどこよりも発展しています。これまでの思い出までもが崩されるみたいで、悲しくてたまりません。どうか存続されますよう切に、願います。</p>
11	<p>武雄市文化会館大ホールは残しましょう！！ 器としての施設は近隣市町にもあるようです。NHKの舞台装置（奈落・オーケストラピット・可動式音響反射板・バトン・エレベーターマイク、舞台照明など）に引けを取らない設備を持った施設が武雄市文化会館大ホールです。過去には日本が誇る優れた古典芸能・邦楽・世界的な演奏家のクラシック音楽・NHK交響楽団など他の市町の文化施設では呼ぶことができない芸術を堪能する事が出来ました。福岡・東京まで行かず、武雄で素晴らしい芸術に接しました。近隣の施設にはない舞台機能を持っているからこそ残すべき施設だと思えます。武雄市民のみならず、近隣市町の住民の方々の方々の文化施設でもあります！！ 呼びましょう！見てください！聴かせてください！情操教育です！世界的に優れた芸術・文化を未来の子供たちにも！！ 使う側として50回に渡る■■の演奏会の使い勝手も思う存分企画出来て抜群です。</p>
12	<p>武雄市文化会館大ホールは絶対残してほしいです。近隣のホールにはこれだけの舞台装置のある所はありません使えなくなって改めてその大切さを再確認しました。近くにホールがあるから使用見込みがないからではなく、これだけの設備があります利用しましょう！と文化振興の発信をすべきではないでしょうか？建物（入れ物）はみんなで活用して文化を育てていくことが大事で、未来の子供達にも自信をもって伝え利用していくべきだと思います。</p>
13	<p>絶対なくして欲しくない、文化が途絶えるのが悲しい。</p>
14	<p>規模が違いすぎるでしょうが昔の建物残される中「武雄文化会館大ホール」を壊して新たにこのホールの音響が残されるでしょう50年後にも残る物を望みますが、物価高騰の折ももっともって機能しないホールになるのではと心配します。是非、大ホールを修復することを一市民として望みます。武雄の財産の一つです。</p>
15	<p>一言で言えば先日の新聞の記事を読み驚愕しましたそして「また一つ、武雄の財産が消える・・・」と 今までの図面（新文化交流施設エリア）を白紙に戻し、全ての音楽家に誇る「武雄市文化会館」に再興を強く、強く望みます。</p>
16	<p>大ホールは、未来の子ども達のためにもぜひ残して頂きたいと思えます。幼、保育園の発表会、小中学生の発表の場として、市長は「武雄を音楽のまちにしたい」と公言されていますが、その音楽はどこで練習発表できると思われていますか？小さな場所で練習したとしても大ホールでの緊張感、臨場感は味わえません、日本中、世界中に飛び立っていく子ども達にその体験を糧にがんばってもらいたいです。</p>
17	<p>アジア大学がもう少し中身のある大学、きちんとした教授や教養のある方今の進学校の高校生が行きたい行かせたい大学であれば、それよりも、文化を学んだり体験したりする場が必要だと考えます。たくさんの市民に恩恵があるのは文化会館にホールをつくる事が優先である。</p>

18 私は唐津市に住んでいる者ですが、佐賀県内で地域の文化や公共施設が縮小されていく現状に、強い不安を感じています。今回、武雄市が文化会館の大ホールを廃止・解体する方針を打ち出したと知り、とても驚きました。なぜなら、こうした公共文化施設こそが、私たち若い世代が地域に残りたいと思える要素の一つだからです。報道などで見た限りでは、これまでの整備方針を急に転換し、あっという間に「壊す」という判断が出されたように感じます。市民の声や希望を、どれだけ丁寧を受け止めたうえでの方針なのか、非常に疑問です。しかも、大学の設置がまだ確定していない段階で13億円を支出している一方で、大ホールのようにこれまで多くの人が使ってきた実績ある施設に対しては、「費用が高いから」と早々に見切りをつける。このバランスの悪さは、行政の判断として疑問を持たざるを得ません。私は、将来この地域で暮らし、働き、次の世代を育てる一人として、こうした判断の積み重ねが地域の未来にどう影響するかを、とても重く見ています。今回のパブリックコメントに寄せられた意見については、ぜひすべて公開し、幅広い市民や周辺地域の住民がこの問題について考え、共有できるようにしてほしいと思います。大ホールは、ただの古い建物ではありません。人の記憶や活動が刻まれた、大切な「場」です。壊す前に、本当にそれがベストな選択なのか。もっと多くの人々が納得できるプロセスと姿勢が必要だと思います。

19 江北町から武雄市に通い始めて30年になります。30歳台後半から■■■に入団しました。勤務地が佐賀市内でしたから、夕方佐賀から武雄まで30キロを1時間半ほどかけて来ていました。週に一度の練習日が楽しみでした。システム開発の仕事をしていたので、忙しい時期は年に数回しか練習に行けない時もありました。その年の最初の練習参加日が9月だった時がありました。それでも■■■団長(当時)は怒りもせず、明けましておめでとう、とジョークを飛ばして迎えて下さいました。入団から5年目、仕事でプロジェクトの責任者となり、その年一度も練習に行かないまま演奏会の日を迎えた事がありました。夕方仕事を抜け出し車を飛ばして文化会館大ホールの楽屋に着いたとき、団長は、来てくれたね、弁当食べなさいと言って下さいました、人間味のある優しい方でした。その後はまじめに練習に行くようになりました。その団長が倒れて意識のない状態で病床を見舞ったとき、早く良くなってくださいあと10年間通いますから、と約束したのですが、もう20年経ってしまいました。たくさんの思い出が詰まった大ホールが耐震改修され、再び使えるようになるのを楽しみにしていました。しかし突然の方針転換で取り壊されるのですね。残念です。公民館棟にある音楽室は吸音材が張ってあるので、歌っても声が響かずなかなか上手に聞こえません。大ホールはよく声が響き、急にうまくなったような気がしました。私はこのギャップが大好きでした。武雄市のホームページ拝見しました。資材の高騰、料率の低下、近隣施設の充実による影響等。書いてあるのは事実だと思われます。しかし、事実を並べても真実に至る訳では無い事を私はこれまでの人生で学びました。結論ありきのシナリオです。これまでは財政的に余裕があったので文化施設への投資もできました。でもこれからは文化は後回しにします、そこんところよろしくと書いてあるとお見受けします。前市長様のお顔が目に見え参ります。市の財政や知名度に貢献しない事業には予算はつけられないのですね。なんとまあ、少し乱暴ではないですか？確かに財政ち大したメリットもなく一部の市民には受けても大半の市民に縁のない文化施設、特に演芸会、音楽会、講演会にしか使えないホールは扱いにくいでしょう。災害のとき活用したくても椅子が邪魔でしようがない、体育館なら避難場所になるのに、融通の利かない施設だ。武雄市の文化に対する貢献は役目を終えた。文化は佐賀市にそ譲ってこれからは自由にやらせてもらいます。それ、文化以外は、武雄がやります。以上の内容が透けて見えました。大ホールの長寿命化に30億円も投資して30年しか使えないなんて、無駄の極みなのですね。しかしもし同レベルのホールを建設するとなると、恐らく70~80億円は必要でしょう。そして50年間しか使えません。考えてみてください、これから先の未来がどうなるのか。神ならぬ人は未来を予見することはできません。が、見えずと古くさい音楽ホールがも切り開いてゆくことはできます。たとえば、状況が好転するかもしれません。驚くようなイノベーションで輝く未来が開けるかもしれません。今あと30年間使える大ホールを残したら世の中がきっと驚くでしょう。そして興味を持ってくれるでしょう。見た目は古臭くとも通信環境を充実し、オンラインで世界中と繋がる文化施設にリニューアルするのはいかがですか？幸い交通の便は最高なのですから、世界が驚くアイデアを前向きに考えましょう。人が集まらないのではなく、人を集めましょう。人々はストーリーを待っています。一度は解体と決まった(決まりかけた)音楽ホールが生まれ変わって文化の発信源になる。武雄の奇跡、だと皆が口にする。手始めに、毎年NHKののど自慢を誘致する、紅白の生中継を武雄から発信する！お隣の県の出身のさだまさし、前川清、福山雅治さんらのコンサートを誘致する。きっと来て頂けると思います。

武雄市文化会館大ホールは、これまで来ていただいた色々なアーティストの方から絶賛されるような音響の、文化的なホールです。このホールを取り壊すのは武雄市の損失となるばかりでなく、日本の損失にもつながるものです。取り壊してしまっただけでは取り返しのつかないことになります。結論を急がず残すための方策を考えていただきたいです。市議員さんや市の担当者の方でこの大ホールの価値がお分かりにならないようであれば、是非専門家の方の意見をお聞きいただき、このようなホールを持っていることの意義を理解していただきたいです。武雄の文化のシンボルをなくすことには大反対です。

1、佐賀新聞に書かれていたように、議会での「いったん立ち止まって見直す必要がある」という市長の答弁がこの議論の発端であれば、判断があまりにも短絡的で、何ら検討されていないのではないかと思います。結論ありきで話が進められているように感じる。

2、大ホール整備見直し（案）について

(1) 2、整備方針見直しの検討について

「関係団体からの意見聴取を実施した」とあるが、その結果も開示されず出された意見についてどのように検討されたかもわからない。意見内容と検討経過を開示してほしい。私も意見聴取に参加し記録もとっているが、その時の意見の大半は存続又は代替施設の建設を求めるものであった。佐賀新聞の記事では「小ホールなどの集会施設の整備が進んでいる」とされているが、新聞社にはそのように伝えられているのか、小ホールの予定があるのであればぜひそれを示してもらいたい。

(2) 見直しに係る背景について

「大ホールの稼働率が低下している」とあるがその原因は何か意見聴取のときも質問したが回答は得られなかった。民間だけで稼働率を上げるのは不可能。文化・芸術を高めていくには市の力が必要である。H30当時と現在では状況がどのように変わっているかを分析し、解決策を検討してほしい。（文化・芸術に詳しい職員の配置なども必要ではないか）

(3) 近隣・周辺自治体の施設状況の変化について

令和2年度の個別施設計画策定後にSAGAアリーナや鹿島市文化ホールが開館したことが挙げられているが、SAGAアリーナは平成30年11月に施設計画が策定され、令和2年6月には既に着工されている。鹿島市民文化ホールは令和5年3月に策定された「武雄市文化交流施設エリア整備基本計画」14ページでは地図上に「2023年開館」と記載され。その上で「武雄市文化会館は佐賀県西部地区唯一の大規模ホール」であり「代替施設が近隣にない」と記載されている。

ここにきて見直しの背景とされるのは納得いかない。「代替施設はない」というのが議論の始まりであり、重要性を理解されていると思っていたから、施設整備のワークショップなどにも参加してきた。

(4) 整備高騰による財政負担について

大ホールの整備費が高騰したとあるが、総事業費が14億円以上高騰しているのであれば全体計画を見直すべきである。新施設を質素なものとし、利用面を最大限に考慮した施設として検討すべきではなかったかと思われる。大ホール改修計画の見直しが発表されたのは（大ホール改修を前提とした）新施設の建設が決まり建物の取り壊しがほぼ終わった時期のことであり、議論する余地さえ与えられなかったことは非常にくやしく、残念である。

(5) 見直しによる新たな整備方針（案）について

大ホールが担ってきた役割を他の施設で対応するとされているが、大ホールの文化芸術面での役割は簡単に代替できるものではない。ぜひ専門家等に意見を聞いて取り返しのつかないことは避けてほしい。

(6) これからの武雄の文化活動について

これまで武雄の文化のシンボルであった大ホールをなくして、本当に「文化の充実」が図られるのか、少なくともオーケストラや吹奏楽、舞台演劇などは武雄では見ることができなくなる。言葉だけでなく、具体的に何を進めようとしているのかを示してほしい。※鳥栖市民文化会館は4月から10月まで改修工事です。とてもうらやましいです。とにかく、武雄に音響の良い大きなステージのあるホールを残してほしい。

21	<p>武雄市文化会館大ホールの解体に反対します。武雄市文化会館大ホールの耐震補強工事長寿命化を希望します。</p> <p>私は武雄中学校吹奏楽部OGです。中学時代は合唱コンクール、夏の大会に向けた練習、定期演奏会で大ホールを利用してきました。現在は社会人サークルの、■■（武雄市で活動）に10年以上所属しています。毎年、武雄市文化会館大ホールで定期演奏会を行い、夏の大会に向けた練習も大ホールで行ってきました。昨年の夏に行われた佐賀県吹奏楽コンクールでは何十年も大差を付けられ敗れてきた佐賀市の吹奏楽団に惜しくも1点差というところまで追いつくことができました。この結果が出たのは、昨年のたけお音楽祭まで大ホールで何度も練習を重ねてきたからだと思っています。（たけお音楽祭後に休館となりました。）大ホールの解体、議会によって一方的に決められてしまった印象を受けています。とても悔しく、悲しいです。昨年までは各サークル団体の代表者で、今後の文化会館の発展について、前向きな話し合いが行われていることを、■■の団長からも話を聞いていました。私も現在の大ホールから新たに生まれ変わる大ホールを楽しみにしていました。公開された説明文には、周辺市町に同規模程度の開館、と記載されていますが、鹿島市のサクラスは751名規模、佐賀市のアリーナは8,400名規模。武雄市文化会館大ホールの規模は1380名。そして、武雄市文化会館大ホールが休館したことで、昨年は鹿島のサクラスを利用しましたが、ホールの構造・響き方が全く異なります。鹿島のサクラスには反響版が全くありません。佐賀市のアリーナには勿論ありません。今の武雄市文化会館大ホールとは全く異なります。これは同規模ではありません。この武雄のホールの響き、収容人数を求めて利用する方は、プロアマ問わず多数います。武雄市民だけでなく武雄市外にお住まいで音楽活動をしている方も、文化会館大ホールで文化活動を望んでいる人が大勢います。公開された文書にあったように、これまで文化活動に関わりがなかった方に文化に触れてもらい武雄市の文化活動が発展していくことを、私も望んでいます。音楽の力で微力ながらも武雄を良い町にしたいと思っています。■■の団規約には「地域音楽文化の一端を担ってその水準の高揚に寄与しようとするを目的とするものである。」と書いてあります。そのためにも今の武雄市に大ホールは必要です。耐震補強工事長寿命化を強く希望します。このパブリックコメントが、小松市長、市議会議員の皆さん、その他この決定に関わる皆さんの目に心に触れることを、武雄市民として心から願っています。</p>
22	<p>【見直しによる整備方針（案）及びこれからの文化活動について】に関する意見</p> <p>「近年周辺市町に同規模程度の機能を有する施設が開館しており」していません。開館しているのはアリーナ「体育施設としての体育館をアリーナと総称。多目的に使い、コンサートも開催できるがPA等を使うのが前提」であり大ホールと同義ではありません。また鹿島市民文化ホールも多目的ホールであり、武雄市文化会館大ホールと同機能は全く以て果たしていません。「稼働率の低下が見込まれ」コロナ渦後のわざわざ稼働率が低い年度と比較して述べることは非常に恣意的です。「大ホールがこれまで担ってきた役割については、文化施設に限らず、他の公共施設の活用」バスケットボールやバレーボールは体育館以外の施設でやりなさい。野球は野球場以外の施設でやりなさい。議会も議場以外の場所でやりなさい。文化活動のみがなぜ「多目的」なものをあてがわれるのか。</p>
23	<p>解体反対です。武雄市に大ホールがないのは考えられないです。大ホールが存在するというこの影響力は大きなものだと思います。各種イベントが行われて、これに感化され文化的な活動や生きがいを見出していく人も大勢いらっしゃると思います。その源の大ホールがなくなることは武雄市にとっても大きなマイナスになると思うからです。</p>
24	<p>武雄文化会館の取り壊しの話が出てますが補修して継続することはできないですか？住民説明会は開催されたのでしょうか？</p>
25	<p>以前話し合いの際に配布された資料には、「大ホールは1380名収容可能であることや音響設備の良さが評価され全国規模の大会や各種文化的イベントの公演や市民イベントの実施などで活用されており、文化活動の中心的役割を担う、市民にとって特別な場として長く親しまれてきました。市民からは他にない存在意義をもつため存続を願う声があり、公演者からも佐賀西部エリアにおいて独自の魅力を持つホールでの公演を希望する声が多く、大ホールの存続が求められてきました。」と、大ホール棟長寿命化方針に記載されています。市民の気持ちをちゃんと理解されていて、工事の終了を心待ちにしておりましたが、突然裏切られたような感覚です。大ホール稼働率はコロナ後のデータでは下がるのは当然です。文化活動は回数より、質や意見が大事です。新施設の多目的ホールでは、現ホールとの規模が大きく違い、大人数の発表には対応できません。多くの市民が大ホール解体について知りません、またパブリックコメントでは声が届きません。説明会や意見交換会を強く希望します。</p>
26	<p>武雄市文化会館大ホール解体に反対！！当初計画の新たな文化交流施設拠点へ生まれ変わるための改修工事を行い令和9年春の開館を目指せ！！</p>
27	<p>■■に入団しているものです。文化会館の取り壊しに反対です。</p>
28	<p>武雄文化会館は、長い間私たちの文化を支えて下さいました。他の所へ色々な施設が出来てはいますが身近にある文化会館は本当に大切な施設です。高額な修理費用は、市民としてもなんとも言えない所なのですが、家庭でも小なりローンをかかえて暮らしています。武雄市でも、この様な長いローンを組みながら頑張って文化活動の方へ力を入れて欲しいです。子供たちのこれからの成長を見守ってくれる施設、老人やサークル活動でも大変好ましい施設です。どうぞよろしく願います。</p>

29	2年続けて武雄音楽祭に出演させていただきました。武雄の文化会館では、今までにも吹奏楽コンクールやオペラ「赤絵まんだら」様々な研究発表会などで利用させていただきました。武雄、佐賀の文化の発展に大ホールは必要だと強く思います。子どもや若い方の文化を高めるためにも是非残してほしいと思います。
30	たけお市民音楽祭に出場させていただきました。佐賀も市民会館がなくなり、大きいホールは（1500人以上）文化会館だけです。スポーツ設備ばかりになった印象です。武雄市民会館の大ホールをぜひ再利用してほしいと思います。また、お庭がきれいでいされました。武雄の町で音楽が盛んなんだなあと感じています。
31	たけお音楽祭に参加させていただきました。唐津市在住の者です。武雄市文化会館にはリヒテル等素晴らしい芸術家に出会えた思い出があります。唐津の市民会館も建て替えています予算の都合上縮小されオーケストラは呼べないホールになってしまい寂しい思いをしています。ぜひ、武雄文化会館は残して欲しいです。よろしくお願いします。
32	武雄市文化会館は音響もすばらしく、市民音楽活動の発表の場としてぜひ残して頂きたい施設です。たけお音楽祭もまたこれまでのように大ホールで開催されるようよろしくお願いします。アリーナや鹿島市民会館は音楽用に整備された施設ではないので代わりにはならないのです。
33	西部地区に武雄市文化会館規模のホールは他にないのではないのでしょうか。なるべく残したいですね。中高生の吹奏楽の演奏会等するには他のホールではステージが狭すぎてできないのではないのでしょうか？また行事等に使う方法を考え、利用頻度を高くするのはどうでしょう。費用不足ということですが、クラウドファンディングでというわけにはいかないかもしれませんが、何か捻出する方法はないのでしょうか。
34	今後の人口減と周辺市町のホールとのバランスを考えると武雄市に大ホールは必要ありません。が、文化の担い手の発表の場は必要で、国全体の力が弱くなっている現在、発表の場を建設できる民間がないため、公の力で建設しなければなりません。担い手がまだ初期のうち、ライブハウス～小ホール（客席50～300）で十分です。ピアノの発表会、アマチュア合唱・合唱団、バンド、主張大会、研究発表、といった場面を担う人々の発表の場はぜったいに必要です。ビッグな演者の人にはぼう大な数の演者と裏方がいます、そんな演者と裏方を育てる義務が小都市にはあります。
35	同じ市内には2個ホールがないとイベントが重なるときに困るでしょう。中高の音楽関係行事等、困らないようにして欲しい。
36	武雄市に大ホールはあるのはまちの誇りです。文化教育のまちとしてその中心に大ホールがあることで安定した実のある（実態のある）成長はあるのだと思います。文化振興の拠点として整備されるべきです！！期待をこめて、いち市民としてエールをおくります。
37	私は「■■」にここ最近入りました。まだ、不安もあるけどでも「大きな舞台に出たい」という思いがありました。練習を重ねてがんばって来ています。その中「大ホールなくなる」と聞いてショックをうけました。大きなぶたいにできるための練習の場・ぶたいを発表する場がなくなってしまうと私たちもこまります。こわすことなくするとほかの団体も来てくれると思うし、とても笑顔あふれる場所になると思います。なので私たちみたいにえんげきや舞台をしている人たちへの練習や発表のできる場を作ってほしいと思います。練習の場所が増えることでこちらがわとしてはありがたいです。私はみんなに■■知ってもらいたくて、知ってもらう機会少なくて舞台を見にきてくれたときとかぐらいしかなく、でもせっかくなら「■■」ができたこの場所でやりたいです、これから、みじかな所に大ホールができると私たちはとてもうれしいです。文がおかしくてすみません
38	約10年前に■■という団体が、あって、自分は、この団体を、3年間、続けて今年改めて、メンバーが増えてきて、今年こそは、佐賀県武雄市で本公演が出る！と思っていたのに、大ホールが解体されると聞いたしゅんかん、とても悲しくなったし他の地域は、本公演をしているからこそ自分たちも本公演したいと思いました。本当は、解体してほしいけど、もし、解体するんだったら武雄市の他の所に、ぜったい大ホールや、本公演ができる場所を作ってほしい。解体すると決めた人にとっては、そんなに大事な事ではないだろうけど私たちにとってはこのことは、とてもとても大切なので、解体しないでください。そして、私が武雄市で本公演をしたい！と思った理由は、この団体は、どのような団体なのか、どういうことをしているのかを、もっとたくさんの人に知ってもらいたくさんの人が知ってくれたらもっとメンバーも増えるだろうし、この団体に、最初は、全然興味がなかったのに舞台をきっかけにこの団体に興味を持ってくれる人が増える、そう思ったから、この紙に私の思いを込めてます！どうか、もう一度、考えてほしいです。この大切な場所を守ってほしいです。なので、解体しないでください。

39	<p>私が■■に入るきっかけになったのが、2015年に大ホールで行われた「風の声がきこえる」という舞台を観て、私も舞台に立って踊りや演技がやりたいと思ったのがきっかけでした。そして■■に入って、2018年に大ホールの舞台に立つことができました。でもそれからコロナがはやり始めて練習もできずにメンバーも減って行って予定していた大ホールでの公演も何度も中止になってしまいました。それでもまたいつか大ホールで舞台をするという目標に向かって少ないメンバーで頑張ってきました。そして去年からメンバーを増やそうと活動して新メンバーも入ってきてくれました。新体制になって進み始めた今、みんなの目標だった大ホールで舞台をするということができなくなってしまうというのはすごく悔しいです。</p> <p>初めて大ホールの舞台に立ったあの日からもう一度舞台の上からあの景色を見たいとしんどいこともあったけど8年間この活動を続けてきました。私の生まれ育ったこの場所で、大切な人たちが沢山いるこの場所で、自然豊かで居心地のいい大好きなこの場所で、私の夢を、みんな夢を叶えたいです。私はもう来年で卒業しちゃうけど、今の小学生メンバーには絶対に大ホールの舞台からの景色を見てほしいと強く願っています。沢山の想いが願いが集まった大ホールをどんな形でもいいから残して行って繋いでほしいです。どうかお願いします。</p>
40	<p>私が思っているのは、■■に入って、大きなぶたいにでるのを楽しみにしていたのに、■■ちゃんとか、■■ちゃん、この2人だけぶたいに立てるのが見えて、なんで自分だけ大きなぶたいに出れないのっていっぱい心の中で言っていた。ぶたいに立てるのがすごいってさいしょは思っていたけれどさいきんになってずいぶんあとかなんで私だけって思っていたところもある。だから正直、私は、ぶたいに立てないのかなって思ったときもある。そして、ぶたいじゃなくて、さいしょはイベントとかだったからそのときはうれしかったけど、やっぱりきやまのぶたいにいっぱい立ちたいしみんなでぶたいに立ちたいから、練習とかいっぱいがんばってみんなでぶたいに立つことが目標です。あと、大ホールが、なくなるのかも知れないことを知ってとても、心にざくっときた。なんで、武おだけ大ホールに立てないのって思った。だから、話を聞きながらこう思った、もう武おでのぶたいは、立てれないのかなって思った。だけど、私は、がんばって、多人数あつめていけば、いつか、武おでのぶたいが立てるのかも知れないって思っています。なので、自分たちだけのぶたいが出るのか、出らないのかっては、まだ分からないけど、ぜったいに出るのがいいです。</p>
41	<p>武雄市新文化交流施設エリア整備の構想が始まってワークショップ、説明会に何度も参加致しました。最初のどのような施設にしたいか、というところからの参加で、絶対に譲れないところは、ステージと観客席がある小ホール的なものは残してほしい！という部分。勿論、そのほかにも意見は出しました。構想が進んでいく中で、大ホールは耐震補強で考えていると。小ホールは無くして、ただのただ広い多目的ホールに決定。何度も意見を案を述べました、可動式の椅子にしてステージを作ってほしいなど。しかし、その意見は通らず、大ホールがあるから、小ホールは作らないとの説明を受けました。実際、大ホールの規模は使わなくても小ホールくらいのサイズでやりたいときもあるのですが・・・それ以降は大ホールありきの話を何度も聞かされ、正直、耐震だけをして、そんなに長くもたないものに何億ものお金をかけるのは疑問もありましたが、予算上ということならしかたがないかと納得せざるを得ませんでした。まさかの5月14日に大ホールの解体の発表。私たちは騙されたの？としか思えない決定。勿論、解体の決定はいいのですが、その後の大ホール建築についてはなにも案が出されていない。これはどう考えてもおかしいとしか言いようがない。このようなやり方をすると、やはり大学に使うお金があるのならば市民の為のホールに使うべきになってしまう。勿論、私は大学の誘致は大賛成です。武雄市の未来のためになる大学ならば・・・まだ、大学の認可がおりるかどうかわからない条況の中、もし、認可がおりなかった場合、大学建設予定地に大ホールを建て、その後、予算立てができた後に現大ホールの解体でもいいのではないのでしょうか。このまま、解体のみで大ホールの建設がされない場合、武雄市の中心である武雄町にホールがない、つまり市は文化面においては、諦め、捨てるということに他ならない。もっと、市民目線での話し合いをしてほしいと思います。</p>
42	<p>私はまだ■■が入ったばかりで大ホールのステージでおどったことがないので、最初に大ホールのステージでおどりたいです！大ホールのステージでおどれなくて悲しいです！ぜひ、ステージを作ってほしいです！！ステージがあったら、私にとっていいけいけんになると思います。武雄のみなさんに■■のことをもっと知ってほしいです！</p>
43	<p>私は「■■」で、メンバーといっしょに大ホールで自分たちの本公演ができるのを目標にして活動してきました。しかし、大ホール解体後、大ホールのような、お客さんが入って、自分達がおもいきりぶたいができるホールがなくなると、私達や卒業生、今まで支えて下さった方の“夢”が大ホールといっしょに解体されてしまいます。大ホールは解体されても、私やみんなの“夢”はとりこわさないでほしいです。なので、新しく大ホールのような、“夢をかなえる場所”をつくってほしいです。大ホールは「■■」だけの色々な感情をあげあう場所ではなく、武雄市民や遠くから来た人の夢や目標だったり、楽しんだり色々な人の感情や想いがつまった大切な場所です。そんな思いをもつ人もたくさんいるでしょう。そういう人のために大ホールじゃなくても、みんなの場所をまた新しく創ってほしいです。そして、私達の故郷でできるぶたいができるように、光が差しこまず、お客さんがいっぱい来て、自分達が満ぞくできるようなホールをつくってほしいです。</p>

44	<p>私は、■■■に入って大きなぶたいにたったことがなくて、いつか大きいぶたいにたって表げんしたかったけど、ホールがなくなる話をきいて、1回は、みんなで大きなぶたいにたちたいと思ったし■■■を知らない人にもっと■■■のことを知ってほしかったしもっとみんなで大きなぶたいでの思いをつくりたかったですし、なんで他の団体には、自分たちで表げんするぶたいがあるのになんで私たちの表げんするぶたいがないんだろうと思って地の団体たちともうらやましかったです。もっと自分の成長を地域の方や両親に見てほしかったし、大きなぶたいにたくさんたっている人なみにみてほしかったし、これをきっかけにいろんな人に■■■に入ってほしかったです。</p> <p>この■■■の表げんしているところをみてメンバーをふやして、おお人数で大きなぶたいにたって表げん活動をしたかったです。もっと大きいぶたいでの思い出をたくさんつくってみたくかったです。自分たちだけが表げんできる大きなぶたいがほしかったです。</p>
45	<p>もっともっと「文化会館」に寄せていた市民ひとりひとりの想いに耳を傾けてほしい。（ほしかった…。）私自身はもちろんのこと、私の子ども達も学校の行事等で大変お世話になり深く濃く“時”が刻まれている。周辺に大きな施設が出来て、そちらに流れる可能性があり、大幅に増える改修費を掛けることを見直したいということの様であるが、子どもの頃から親しみのあった「文化会館」が跡形もなく、無くなってしまうのは耐え難い。そのような思いを抱く市民は、私ひとりではないだろう。改修工事に関係している側の人たちには、このような一市民の想いなど、更さら気に止めることではないかもしれない。だが、今いちど考えてみてほしい。これまで、大切に想って住み続けていた“武雄市”が好きでなくなるようで、怖くて悲しい。文化会館のようなどころこそ想像以上に、お年寄りにも子どもたちにも市民のひとりひとりにとって、とても大切で意味のある、そんな処なのだ。その様な背景を決して忘れないでいただきたい。</p>
46	<p>私は中学生の頃から現在まで吹奏楽活動を通じて大ホールを利用してきました。就職を機に武雄を離れた今も、週末には音楽室を使わせていただき、何度も大ホールで演奏を行ってきました。そんな思い出の詰まった大切な場所が、「改修費の高騰」や「稼働率の低下」といった数字だけで失われることに心から悲しみと寂しさを感じています。理由として挙げられている費用面については深刻な課題だと思いますが、改修規模の縮小や段階的整備など、機能を残す方法もあるはずです。稼働率についても、コロナ禍の影響を受けた数字であり、工夫次第で改善が可能です。活用の工夫や支援を、市民とともに考えていただければホールの存在意義と利用価値を高めることができると思います。また、他の公共施設を活用して機能強化するとの方針も示されていますが、大規模な舞台・音響・照明設備、そして1000人規模の観客席を備えた大ホールの代替は、極めて困難です。代替となる施設がない中、大ホールを失えば文化活動の質や発表の場が著しく損なわれ、特に学生にとって深刻な影響があります。地域の文化を次世代へつなぐためにも、文化会館大ホール棟の廃止ではなく、当初の「長寿命化による活用」方針への再検討を強く求めます。</p>
47	<p>私は武雄市の一市民として、これまで大ホールではこけらおとしの時からステージに立たせていただき、初めての大舞台に大いに胸を躍らせたことを覚えています。観客としても巨匠リヒテル、ポリジョイバレエ団を始め、フルオーケストラなど数々の著名な演奏家の公演を楽しみ、武雄市にこのように県内外から多くの人々を集客できる立派なホールがあることを誇りに思ってきました。北方文化ホールで先日行われた「たけお音楽祭」では、ある団体はステージの狭さを理由に2グループに分かれて演奏せざるを得ず、演奏する側としては本来の形ではないことがとても残念でならなかったと聞きました。ホールの規模としては山内農村環境改善センターも同様であり、大ホールほどの規模のものがなくなると大いに不便が生じます。</p> <p>そして、近隣には佐賀アリーナや鹿島文化ホールなどがあるため稼働率の低下が見込まれる、との見解には異論があり、そもそも周辺にホールがあることと稼働率とは直接の関係はないと思います。周辺ホールの有無にかかわらず。武雄でも魅力ある催しがあれば集客は見込まれるし、稼働率も上がるのではないのでしょうか。武雄市にホールがなければ周辺のホールに行かねばならず、武雄市にホールがあつてこそそこに人が集まることが武雄市にとっては大事なことで、ホールがなくなれば武雄の文化レベルの低下を招きます。やはり、文化の発展のためには催しのできる規模や音響設備の整った「器」がまず必要であると考えます。既存の公共施設では大ホールの代わりはできません。大ホール解体のニュースは突然のことで、武雄市民だけではなく県外にも届き、その反響は大きいものがあります。当初、改修の予定で計画が進められていたのに、費用面での問題から解体する方向に変更されたと新聞報道され、関心のある市民は大いに落胆しています。今一度、武雄の財産と文化を守るために再度検討を重ねて欲しいと願っています。財源確保に「ふるさと納税」や「クラウドファンディング」などあらゆる方法を考え「解体」ではなく「改修」し文化会館大ホールの存続を強く要望します。</p>
48	<p>武雄市文化会館大ホールの急な廃止解体の方針転換に深い驚きと悲しみを感じております。大ホールは武雄市民にとって思い出の詰まった特別な場所です。それにアジアベストレストラン開催の為せっかく改修された新しいトイレも結局コロナでほとんど使われないまま無駄になってしまいますのは本当にもったいなく感じます。限られた予算の中でも改修計画を見直し中ホール程度の規模で残すことや、市民の声を反映した活動方法を模索するなど別の可能性があるのではないのでしょうかぜひ廃止一択ではなく地域の資産として活かす道を前向きにご検討いただけますようお願い申し上げます。</p>

49	<p>文化会館大ホール解体について</p> <p>武雄の文化のシンボル大ホールの解体決定を新聞で知り大変驚いています。改修予定だったのでは？大ホールは開館時プラスバンド部員としてオープンを祝い、その後も様々なジャンル（クラシックからポップス、演劇、ミュージカルなど）のすばらしい演目が催され、数えきれません。中でも世界の小澤さんと大阪フィルの演奏には心震え人生の最高の宝物になっています。今はいろいろな物で聴けるかもしれませんが若い時に生の一流の演奏を聴くという経験はその後の人生をととても豊かにしてくれます。せっかく武雄市民が気軽に行ける素晴らしいホールがあるのに、それを解体してしまう事は武雄の文化の大損失です。これからの若者のためにもぜひ考え直しをお願いします。</p>
50	<p>私は■■として、約10年前から、いつか文化会館の大ホールで自分たちの舞台をすることを目標に活動してきました。しかし私が中学1年生のときにコロナ禍になり、活動休止を余儀なくされ、あと一步というところで公演の話は白紙になりました。子どもたちのためにと寄り添い続けてくださった大人の方や、仲間のおかげで、何とか今まで踏ん張ってこれてきましたが、同時に、自分の目先の利益にしか興味がない大人の理不尽に振り回される経験もたくさんしてきました。私は今の子どもたちに、あのときの私たちのように、大人の理不尽に振り回され、夢を語れば横目に流されるような経験をしてほしくありません。あのとき、自分たちの声に少しでも耳を傾けてくれる大人がいると信じれず、声をあげなかったことをずっと後悔しているからこそ、今の子どもたちには声をあげればきっと、耳を傾けてくれる大人の人がいる。行動すれば、必ず何か変わる。あなたたちの声はきっと届く。そう伝えています。今、■■として、夢を持つ子どもたちも、この意見公募用紙に自分の思いを書いてくれています。あの子たちに、この行動は無駄じゃなかったと思えるような経験をさせてあげたいです。漢字を間違えているところだってあるけど、自分の思いをどう言葉にするかたくさんたくさん悩みながら、子どもたちが一生懸命自分の言葉で書いたんです。どうか最後まで大切に読んであげてください。私たちの思いが、小さな声が、届くべき場所に適切に届くことを願います。</p>
51	<p>武雄市のシンボルと言っても過言ではない武雄市文化会館。西日本一の殿堂と称され各方面より注目を浴びてきた大ホール。50年近く大きな存在として市民は元より、各種のエンターテイナーの方々もここで私たちを楽しませてくれた場所でもあります。この大ホールには私自身も沢山の思い出があります。保育園時代におゆうぎ会が大ホールで開催された事。私にとっては初舞台です。（おゆうぎ会が初舞台の方はたくさんいらっしゃいますが）小学6年の時にはチェコスロバキア少年合唱団が来日し、一緒にステージに立った事、中学生時代には吹奏楽部に入り、コンクール前には大ホールで練習させてもらい、もちろんコンクールも行われました。成人式の思い出も大ホール、結婚し、4人の子の母となり、子どもたちも行事等で大ホールの舞台の上に立ちました。そして2017年に末娘が■■に入り翌年2018年5月4日に大阪・沖縄・和歌山の団体と地域間交流舞台を経験。いつかは■■の本公演を大ホールでやってみたいと目標を持ち今日まで活動を続けています。大ホールの耐震強化が終わって是非ともこけら落としは■■でやってみたいという思いが強かったのに。ここに来て、解体の話、解体されては正直、困ります。残念です、残して欲しい。もう一度、大ホールでの舞台に立ちたいという娘は残念ながら今年度いっぱい■■を卒業します。今、小学生メンバーが入って来て、この新メンバーの子たちにもあの立派な大ホールの舞台で思いっきり、演じたり踊るといった経験をさせて欲しいのです。武雄市に立派なホールがなくなるなんて考えたくないです。子どもたちが「舞台をしたい」という思いを絶ち切る事だけはして欲しくないと考えています。子どもたちの思いをどうか聞いて下さい。我々■■のメンバー、保護者、卒業生だけではなく、これまでに武雄市文化会館へ足を運んだ皆さんがきっと思っているはずなのです。「大ホールは残すべし」と。</p>
52	<p>子供達に本物の音楽を演劇をと■■事務局に関わった事があります。大ホール小ホールとってお世話になりました。解体され無くなると本當いきなりと思う程でした。きちんとした説明がほしい市民の声をもっと聞いてほしい。</p>

53	<p>私は、小学5年生だった2015年から■■という団体に所属しており、高校3年生で現役を卒業してからも、子ども達の指導やサポートをするスタッフとしてこの活動を続けています。2015年と2018年に武雄市文化会館の大ホールに立ち、たくさんのお客さんの前で自分を表現し、拍子ももらう感動を知りました。しかし、コロナ禍等が理由で2020年に予定していた公演は中止。ほとんどのメンバーが目標を見失い、やる気をなくし、練習にも来なくなりました。その後、やっとコロナ禍の終息が見えてきて、イベントや小さな自主公演等を重ね、全国各地で活動する団体の舞台にも立たせてもらいました。「今度こそは地元、武雄で本公演を!!」と、改修工事が終わる年に大ホールでの公演を予定して頑張っていました。突然の解体発表。驚きが隠せず、何より、ずっと目標にしてきた大ホールがなくなる、ということが本当にショックで、理解できませんでした。小中学生の頃に、大ホールの舞台に立つことを目標として必死に稽古に取り組み、たくさんの人に支えられ、大きなホールに立って自分を表現できた喜びと、終演後にあの舞台から見た景色が、今の私を作ってくれていると思います。</p> <p>そして、今、武雄の大ホールで舞台に立つことを目標に頑張っている子ども達にも、自分と同じように、舞台に向けて仲間と一生懸命になることの喜び、たくさんの方々に支えてもらうことへの感謝、そしてあの舞台からしか見られない景色を味わって、成長して行ってほしいと思います。現在、北方や鹿島には舞台ができるホールがありますが、地元武雄のホールに各地の仲間を集めて舞台をし、地元の方々に見ていただくことに意味があります。また、私は今年、ケーブルワン・スポーツパークでの20歳の集いを経験し、運営にも関わらせていただきました。しかし、体育館にパイプ椅子では、当初思い描いていた「成人式」の雰囲気とは違っていたり、せっかく用意してもらったムービーが見にくかったりと、「自分達も文化会館の大ホールで行いたかった」と口にする人が多かったです。さらに、その他にも、学校の合唱コンクールや文化祭、芸術鑑賞会、演奏会やホール練習など、武雄市で育った人の誰もが、様々な場面で大ホールを活用してきました。その思い出の大ホールが跡形もなくなる、となるととても寂しいです。そして、今後大ホールの代わりにこのような役割を担うことができる場所は、今の武雄にはないと思います。生まれ育った武雄に大きくて音響環境も良い大ホールがあることが誇りでしたが、ホールがなくなるとなれば、もう少し小さくてもいいから、みんながずっと使えるホールがある町に生まれたかったとさえ思います。私の後輩達、さらに子ども達の時代にも、武雄市の未来を担う子ども達の文化面等を支えていくには、武雄市の中核であるここ武雄にホールは必要不可欠であると考えます。近年、鹿島市や嬉野市にも新しいホールが建築された中、武雄市はそれができないとなると、市のお金はどこに流れているのだろうという疑問も、大学生の間では上がっています。やっとコロナ禍の収束が見え、子ども達が思うままに発表の機会を持つことができる時代です。現在予定している小ホールとはまた違う、武雄市の中核を担う武雄にふさわしい舞台と客席があり、子ども達の目標となるような大ホールを造って欲しいと強く願っています。どうか、市民の声を元にした再度のご検討、よろしく願いいたします。</p>
54	<p>子ども達の舞台芸術にふれる場として、大ホールを残してほしいです。私自身も、子どもの頃、武雄市内の小中学校音楽発表会で、大ホールの大きな舞台で発表をした感動は今でも覚えています。1000人を超える規模のホールと、500人弱のホールとでは、舞台に立った時の子ども達の感動には、大きな差があると思います。“大ホールで演奏したい、舞台をしたい。そのために、今以上にがんばる”そんな経験を子ども達にもしてもらいたいです。また、大ホールが休館してから、学校での文化発表は、体育館やケーブルワンパークです。見る側としても、音響的なものはもちろん、鑑賞中のマナーを学ぶ場として、子どもたちのやる気の差の違いにも、大ホールの必要性を感じました。</p> <p>大ホールの稼働率について、令和5年度は新型コロナウイルスが5類に扱われるようになった年であり、まだまだ利用が少なかったこと。</p> <p>その後、鹿島市に同じような施設ができたが、交通の便からみても、西九州新幹線が開通したこと、駐車場もあることを生かして、1000人規模の招致が可能なのではないかと思えます。そして、その舞台やコンサートなどに集まった人に、武雄を観光してもらうなどの地域活性の場として生かせるのではないかと思います。</p>
55	<p>私は■■の卒業生で大学■■年の■■と申します。今回、武雄市文化会館大ホール棟の建設の見直しについて、意見させていただきます。私は、小学5年生の時に、武雄市文化会館の大ホールで初めて舞台に立ちました。あの時、舞台上で輝く先輩方の姿を見て、私もまた大ホールで舞台に立ちたい、自分の一生懸命を表現したいという目標ができていたように思います。しかし、その時現役生活の中で、大ホールでの舞台が実現したのは、中学2年生の時の1回のみ。理由としては、コロナ禍に入って公演することが困難であると判断したからです。また、2024年5月に予定していた公演も団体の体制やメンバーの少なさなどから中止を余儀なくされました。現役時代、同期の仲間や後輩とともに「もう一度武雄の大ホールで舞台をする。」という目標に向かって、一生懸命に舞台に立つことができる環境が整っている仲間のことをうらやましく思う一方で、悔しくもありました。「表現できる場所があることは当たり前じゃない。」このことは、■■のメンバーもスタッフも保護者も全員が1番分かっています。それだからこそ、今まで信じて待ってきた「大ホール」の完成が白紙になるということは、私たちの長年の目標が消えてしまうことになります。今、■■設立当初からいるメンバーは今年で全員卒業となります。恐らく、次舞台をする時のメンバーは全員が大ホールに立ったことがないメンバーです。私たちスタッフは、今のメンバーに大ホールに立って、表現の楽しさ、一生懸命に取り組むことのすばらしさを感じてほしいと願っています。そして、1回で終わるのではなくて、定期的な開催をすることで、この活動が続き、次の世代へバトンを渡すことができるような居場所を作る。それが今の私たちの決意です。この私の願いが少しでも理解してもらえて、実行に移してもらえると幸いです。</p>

56 ■■の2024年度卒業生で■■のスタッフをしています。大学■■年生の■■です。大ホールが解体されるというお話を受けてこのパブリックコメントを書かせていただきます。私たちは「自分たちの地元である武雄の大ホールで大阪や和歌山など、各地で同じ志を持って活動する仲間とともにまた本公演（舞台）をする」という大きな目標を掲げて活動に取り組んでいました。その思いが実現したのは、中学1年生の5月の一度きりです。その後は、コロナウイルスによる感染症の大流行に伴い、予定されていた公演も中止を余儀なくされました。また、改修工事がされるということで、あと2年後こそは立てるように頑張ろうねと現役メンバーもスタッフも保護者の皆さんとともに取り組んでいるところでした。

私たちがこのように大ホールでの舞台に懸ける想いは、■■の始まりで見たあの景色をこれからの子どもたちにも観てもらいたい、たくさんの人に感じてもらいたいと思う熱いものです。あの大きなホールで浴びたあのスポットライト、大勢の人の前で自分自身を表現する姿を見てもらう、一生懸命に頑張っている姿を見てもらう、何もかもが私たちにとっても見たいただく方にも感動体験ができるこの居場所で地元の人にも広めていけると思うからです。交通の利便さや収容人数を考えるとあの大ホールじゃなければできません。いろいろな角度から体験してもらう、姿だけじゃなくて音も光もすべてをかんじてほしいとおもいます。自分の思いを伝わりづらい文章ではありますが、読んでくみ取っていただきたいです。

子どもたちの夢、かなえたいんです。子どもたちの夢は、私たちの夢でもあります。どうか、大ホールを解体ではなく、リニューアルしてほしいです。よろしくお願いします。

57 大ホール解体の話聞いて納得いきません。代表の■■さんから聞くまでは何も知らなかったし、その後市役所のフェイスブックや市報など見ても何の情報もない。唯一たけおポータルにあったけど、普段このサイトを開く事はまずないし、開いて見ても大ホール解体という情報にたどりつくのが難しい。タイトルだけ見ただけでは何も内容がわからない。武雄市は職員をあげて情報をSNS等で発信する事を推してたのではないのですか？大学の件についてもいち市民は全然知らない事だらけ。ましてや市民の文化活動ができるホールをなくす!!という大事な事を知らない人がまだたくさんいると思う。武雄の事を誇りに思っていた私やその事を一番大切にしている■■のこども達の舞台をしたいという夢をなくしてほしくはありません。以前地域間交流舞台をした時も県外の他団体のみんなや基山町の仲間達からも武雄いいですね、また帰ってきますと言ってもらえた。武雄に来た時には「ただいま」と言って来てくれます。逆に私達もこども達も基山町の町民ホール、大阪狭山市のさやかホール和歌山県の日高川交流センターなどで舞台に立たせてもらえて、またその場所に行った時には「ただいま」という思いがあります。そんな場所が武雄の中心にある文化会館だったと思います。文化会館大ホールが新しくなったらそこで舞台をしよう!!と目標にして頑張ってきました。そんな場所をなくそうと進んでいる事も悔しいし、市民目線ではない事に憤りを感じます。北方のホールがあると思われてるのだろうけど、1度北方でさせていただいた時は、場所がわからない、子ども達の友達が電車で来てくれたけど、北方駅から遠い、バスの時間もない、電車の時間もないで迎えに行ったり、遅れて来てもらったりととても不便でした。他団体の子ども達が来てくれた時も（80名程）武雄温泉まで歩いて行ける、泊まったしらさぎ荘からも歩いて行ける好立地にうらやましい!!と言われました。私自身も小さい頃から子ども劇場の会員として生の舞台、演劇に触れ、音楽祭、成人式などたくさんの思い出もあります。TVやインターネットが進む世の中ではあるけれども、生の舞台を見る事、感じる事とても大切なのではないのでしょうか。現代のこども達にも未来のこども達にも文化に触れて感じる経験を残してあげたいなと思います。そのためにも大ホールは武雄の中心にあり続けるべきだと思います。市民のことを第一に考える武雄市であって欲しい。武雄市に住んでいて良かった子育てしやすいと自慢できる武雄市のままだと強く願います。

58

結論から言うと、大ホールの廃止解体には反対です。武雄市の規模や武雄が目指したい街づくりなどと考えると、文化・教育や産業の面からも、最低でもある程度の規模のオーケストラや吹奏楽、演劇、コンサートの演出がしっかりできる規模のホールは必要だと思います。武雄市さんは近隣のホールでも代用が効くと言われていますが、北方文化ホールでは規模が小さすぎますし、鹿島や佐賀市のホールとなると、まず距離的にも「近隣」とは言えませんし、市外なので発表のための費用負担もすごいことになってしまいます。文化芸術の大切さはおそらく他の方がしっかり言われていると思いますので重要性はお分かりになると思います。産業と直結しないように思われがちですが、市民性みたいなものにもかかわってくると思います。また、今後大学も造られますし、市内には多くの学校（小中高、保育園、幼稚園）もあります。ホールが無くなってしまうと例えば規模の大きな中高、社会人の吹奏楽部なんかは武雄市内では演奏ができなくなります。先日のたけお音楽祭に参加しましたが、吹奏楽は少人数アンサンブルでの参加でした。部員全員が参加できない状況になりますし、一流のアーティストを呼ぶような学校主催？などの文化芸術鑑賞もできなくなります。こういうのは教育的にもどうかと思われま。市のサイトを見ましたが、多目的ホールはそういう場所にはならないとはっきり言えます。加えて大きなホールは全国区（海外も）の一流のタレントさん、アーティストやグループのイベントをすることができるので、新幹線まで通して武雄を楽しんでもらうための呼び水をわざわざ潰してしまうのは観光産業にも悪影響が出るのではないかと思います。本当に武雄が長崎へ向かうための通過点になってしまいませんか？最近ニュースで聞いた佐賀アリーナや武雄温泉駅前の店舗閉鎖の事もあって、建てたとしても実際の運営にかかるリスクは当然あると思いますが、教育面、産業面の投資として考えてもやはり必要な施設だと思います。これまでの経緯を聞く限りは、実際問題、前向きな検討として挙がる、建築や維持の資金調達、赤字経営にならないようにする、ホールにも紐づけた市内の産業への貢献も考えた企画運営についての話が具体的かつ積極的に行われている感じは受けません。こういうのはたゆまぬ努力が必要ですし、経営手腕が必要になるので、武雄市だけでやる（武雄市に依存している）のもどうかと思うところは今回の問題を通して感じるのですが、アクロバティックな策でもなんでも、海外の事例でも、地方創生やビジネスのアイデアからの流用でもゼロベースで自由かつ具体的かつ建設的に大事な文化施設（ホール）を持つ形を話し合えないでしょうか？例えば雑ですが資金調達だとクラウドファンディングもあるし（民間だと手数料かかるので武雄市でやるとか）、企業がやる資金調達、市民ファンド、ソーシャルインパクトボンドなど、「自治体だからできない」という枠は一度取っ払って考えられないものではないでしょうか？運営にしてもたとえば「市」じゃなくて「市民」による運営（市民営？最初は市が助けても良いと思いますが）とか、文化会館運営、市内のイベント企画とともに、武雄市内の教育施設やお店や企業を助けるためのいろんな事業を行う「有限会社たけおなんちゃら」みたいな企業を設立して事業継続も兼ねた運営をとっていくとか…少しトピックがずれてしましますが、地方創生のカギはそこに住む人たちが自浄能力（サバイバル力）を高めることなので、市だけでなく市民も具体的にガッチリ組める体制づくりでやっていけないのかなと。今回の文化会館についての経緯の状況から思うに、多分、お互い感情だけで話をするのではなく、もっと具体的な知恵や知識、ツテや（中立な）人脈を出し合って話し合って挑戦するのが肝要のように感じます。個人的には小学校の頃に出演したたけお音楽祭や、現在は■■■に所属しているのもあり、文化会館の思い出もたくさんありますが、全国的にも有名で、近年勢いもあり、素晴らしい場所となっている武雄市ほどの町が文化の拠り所をみすみす潰してしまうのは大きな損失ですし、いったん潰してしまったら、仮にその後文化熱が上がっても、もう二度とホールを建てるということは無くなると思うので、無くさないでほしいところです。以前、市民の求める場所になれば、と発言したことはありますが、市からの新しい提案はそこに向かっていくのか疑問に思いますし、武雄市全体の事を考えて出たものなのかなというのが気になったところです。長文にて失礼いたしました。ホール解体廃止はとりやめいただければありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

59

文化会館を改修するより廃止、解体の方向になるのは方針を読んで理解できました。そもそも文化とは少々ムダがあるものだと考えています。武雄市はそのムダにお金をつかって市の知名度を上げ、観光をとりこんできたと考えています。しかし一流のアーティストを観る機会を「他県他市に施設ができたから」といってホールをなくして他に代替のできる規模の文化施設のみにしてしまうならば、それこそ、他県、他市の魅力のある方に収客は流れていってしまいます。市民の中には「コンサートにいかないから」「スポーツしないから」という理由で市内の建築物にいろいろ市のお金を使うことに苦情される方がいるかもしれませんが、それは文化教育の乏しい年代の方なのかなと思います。この先何十年も先、「あー、やっぱり武雄は昔から変わらず文化的な街だねー」と思い暮らせるような、今の子供たちに本物を観る機会をきっかけ（保育園や小中高の学校イベントを市の施設ということで舞台上に立ったり利用したりできること）をなくさないでほしいと思います。こんなささいなことでも生まれ住んだ市に誇りがもてればおのずと若者は戻ってくるかもしれません。新ホールを作ることももう一度考えることはできないでしょうか？クラウドファンディング等いろいろあります、ムリかな「他市にもあるから」という考え方ではなく「武雄市の誇れるホールにぜひ立ちたい」という夢（古典文化歴史のある武雄、スポーツだけが夢ではありません！）を持つ子供たちが育っていくような文化会館を再検討おねがいいたします。稼働率は佐賀市民会館のようなものを考えればニーズはあると思います、稼働可能な業者に委託するなど。

60	<p>まず、率直に大ホールを廃止するという方針を決定されたことは非常に残念です。長寿命化見直しの理由が改修費の高騰、SAGAアリーナや鹿島市民文化ホールのオープンとのことですが、あまりにも一面的な見方かなという印象です。改修費の高騰については、工事計画の見直しを一考するべきかと思います。個人的な感想ですが、もう一方の多目的ホール等の施設に資金を投入しすぎていませんか？また、近隣施設の影響で稼働率の低下が予想されるという見立てですが、現在武雄市文化会館が使用出来ないことで、北方文化会館の利用が激増していることは周知のことかと思えます。つまり、武雄市文化会館が使用出来ないために、代替施設に利用者が流れているということです。しかし、北方公民館は逼迫しているものの、武雄市近隣の施設の稼働率が上がったという話は聞いたことがありません。そこに目を向けずに近隣施設に流れるだろうという見立ては少々甘いと思います。理由としては、会場の収容人数が関係します。今年、5月15日の佐賀新聞の記事によれば、鹿島市民文化ホールが800人規模、SAGAアリーナが8400人規模とのこと。しかし、その見立ては鹿島では少なく、SAGAアリーナでは多すぎると思う、1000人～2000人規模の会場を利用したい層の需要を無視してしまっています。（鹿島に至っては利用者さんから音響面の問題があり、公演には向かないという話も伺いました。）先日、私が所属する団体が北方公民館で大会を開催しました。その際に聞かれたことは、やっぱり収容人数が少なかったよねという声でした。また、3年後には1000人規模の大きな大会を行う予定ですが、武雄市の大ホールは使えないだろうかという声もチラホラ聞かれます。小松市長様は、しばしば武雄市を文化のハブ都市にしたいというお話をしてくださいます。しかし、大ホールの無い市が文化のハブ都市になれるのでしょうか？小ホールしかない市では、大きな公演を催せません。文化に触れる機会が確実に失われるのです。本当に市民のことを考えてくださるのであれば、未来に投資をしていただきたいと考えます。例えば子供の頃に文化に触れている子とそうでない子では大きな違いがあります。心が豊かな子が育つのです。成長しても故郷ではあんな事があった、こんな事があったと思出す事もあるでしょう。中には大人になって故郷の為に地元に残ったり、または帰ってきてくれる子も出てくるかもしれません。そうでない子たちは故郷を思い出し、戻ってきてくれることがあるのでしょうか？一つのきっかけを亡くすこととなります。何を大袈裟と思われるかもしれませんが、しかし、それが文化なんです。心に焼き付くような経験、体験をする事が人間の心を豊かに成長させることに繋がります。絶対に大ホールは必要です。必ず作っていただきたいです。</p>
61	<p>大反対です！他に同じように市民が集える場所がありますか？コンサートを開けるような大きなホールがありますか？そんなホールが一つもないなんて、西部地区のリーダーを主張する武雄市として恥ずかしいことです。予算がないなら無駄な予算を回せばよい。大学は必要なし！武雄に■■を入れるな！</p>
62	<p>文化会館は様々な行事（ステージを使う使わないにかかわらず）に使用されていて、必要な施設だと思う。武雄に大学は必要ないと思うので、その予算を是非文化会館の工事費や維持費に当ててもらいたと思う。今の文化会館はそのままの存続はできないのでしたら、その場所に新しく中・高の吹奏楽部が乗れる位のステージを持つ音楽ホールの建設を願います。客席は1000席位でいいので。</p>
63	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大ホールは耐震化、雨もりの修理等をして残すも、できなければ1000人程度の客席のホールを新築して欲しい。（小ホールをこわした後、大ホールをこわす決定は、市民にとってだまされた感覚） 2. 白岩の体育館（ケーブルワンスポーツパーク）を作る前に、体育館をホールのように活用できる機能をつけて大ホールをこわす話が一時でていたが、大ホールの「響き」が国内でも有数の良いホールだということで、残すことになっていた。（多くの音楽家から高評価の声が上がっていた）※文化協会の理事幹事連合会の際の意見聞きとりにより（令和2年か3年頃？） 3. 新しい文化施設をつくるに当たり、様々な説明会（公民館を使用する団体、文化活動をしている団体、一般市民等）にも参加したが「小ホール」は作って欲しいという意見が多く出された。その回答として「大ホール」を残すし、北方の文化ホールを小ホールとして活用するように説明があった。しかし北方の文化ホールでは大人数の団体の発表は難しいし、機能的にも不自由な面が多くある（客席が階段になっている等） 4. 今後の文化の振興発展を考えたときに「街なかで聴く音楽」「体育館等で聴く音楽」ももちろんいいが「音楽ホールで聴く音楽」も大切であるとする。また、子どもたちにもホールでの響きを体験させたいし、発表の機会も作って、将来の文化の発展をはかりたいと願っている。「市」は文化で「生涯にわたり芸術に親しむ人」づくりをしてほしい。
64	<p>6月議会を傍聴しました。大ホール改修について、二転三転と状況が変わっていきました。市長の答弁として将来、子どもたちの負担が残らないようにしたい。文化振興の流れは止めない方向で、その為には跡地を有効に活用したいと述べられました。市民の声については様々な意見が出ているようです。稼働率を取り上げられていましたが、待っているだけでは稼働率は上がらないと思います。積極的に文化活動を誘致する事はできなかったのか疑問です。文化施設として武雄市に当然存在するものと考えていました。なくしてしまうのはとても残念です。</p>

65	<p>大ホール改修の予算が厳しいのも分かります。大ホール、小ホール共に無いという事は、武雄市の文化活動の質を向上させる為にも特に残す所です。現時点で出来る事、お願い致したい事は、進展中のこの件！多目的ホール設置の内容を出来る限り音響効果が得られるホール設置を切にお願い致します。この空間から生まれる響きは観客及び皆様の活力アップにも繋がると思われます。（仮称）武雄アジア大学設置と重なる状況 物価高騰の煽りが直撃し計画を見直す事も大事ですが、佐賀新聞の記事にまで載ってしまっただけでは改修の方向性は施しようがない状況ではあります。新設予定の多目的ホールの更なる改善をお願い致します。■■■全員の願いです。</p>
66	<p>■■■は、来年は、40周年を迎えます。立ち上げからずっと武雄市文化会館と共に、成長してきました。人形劇、舞台劇、コンサート、マジックショーやサーカスなどたくさんの作品を公演させて頂きました。人々と集い感動を分かち合い、心を繋げてきました。武雄市文化会館は感動を生む場所なのです。子ども達の未来のため市民の心の拠り所としてホールを再建して下さい。今まで同様、中高生の合唱コンクール、文化祭、表彰式などの文化発表の場として吹奏楽部や吹奏楽団のコンサートの場として武雄の象徴としてホールを建てて下さい。お願いします。</p>
67	<p>もし大ホールがなくなってしまうとオーケストラや舞台劇等の迫力ある大舞台が観れなくなります。小ホールや中ホールでは味わえない迫力を大ホールでは味わえます。これらの未来を担う子ども達から、そういう機会を奪わないで下さい。子ども達には感動する舞台をこれからも観せていきたいです。</p>
68	<p>■■■の一大イベントである敬老会が毎年大ホールで行なわれていましたが大ホールが無くなってしまおうと開催する事もできなくなってしまおう。■■■、■■■が一丸となって高齢者の方の長寿を祝って、笑顔を見る事が楽しみだったのが見れなくなってしまうと思うと、とても残念です。武雄町に大収容できる公共施設の設置を切に希望致します。</p>
69	<p>「文化都市武雄」をめざしている中での、大ホールの取り壊しは、納得いきません。*大ホールは素晴らしい（東洋一）音響効果、*舞台の廣さ（奥行、間口）これらにより中央からも、素晴らしい演劇やコンサートが招致出来たと思っています。市民並びに近隣の地区からも観衆を得、文化的教養の高さを培う場として提供することが出来、また、これらの事による経済的効果も大きかったと思う。素晴らしい大ホールを、なんとかして存続し、これまで培われた事を大切にして、武雄町を中心に、大ホールを文化的施設の拠点として、「文化都市武雄」を目指してほしいと思います。</p>
70	<p>武雄文化ホールが廃止されるというショッキングなニュースから1週間、色々感じるがありました。今まで、あるものがあたりまえと思っていた練習場所、そしてとても響きのよい大ホール。そこで音楽をさせていただくことへの先人の方々への感謝の気持ち。そして幸せな時間。それは、永遠ではないということ。私は、■■■の皆さんの合唱への愛、地元への愛に迎えられ、伊万里から毎週楽しく歌に通っています。私だけではなく武雄市以外からも魅力あるこの■■■へ50名ほどのメンバーがつどっています。これは、これまでの行政の方々のご理解ご支援の元、普通のことでなく県で最も古い合唱団が存在しているのです。予算が足りないで廃止、鹿島や佐賀のホールを使用すればよいとのこと、これは全く解せません。それを言うのであれば、今度できる大学（少子化の折大学の件に関して皆がすぐおっしゃいますすみません）佐賀へ通っていただいた方が良いのでは？武雄は交通の便が良いので・・・。文化のある町作り。これはもう死語なのではないでしょうか？私の知り合い（音楽関係以外の方）皆、文化会館がなくなる！？それはダメでしょう。武雄のシンボルなのに！と皆さん一様に驚いています。税金でまかなわれるわけですから簡単ではないということ今回改めて知りました。クラウドファンディングとか500名ほどのホールの建設と廃止ではなく、もう一度皆で考えていく必要があると思います。よろしく願いいたします。このような意見書がただの聞き取りにならないこと切に願います。</p>
71	<p>「武雄市文化会館大ホールの廃止、解体」に反対です。これまで■■■では、「佐賀文化祭」や「民音公演」等にに使わせて頂いて来ました。「民音公演」には、1,200人規模のお客様結集が必要です。鹿島市民文化ホール（約800席）では、世界的アーティストの招聘は無理と言わねばなりません。以前、武雄市は、「武雄は西九州の『ハブ都市』を目指す」との指針を掲げておられました。正直申し上げて「民音公演の出来ない『ハブ都市』では理屈に合わない様な気がします。誠に申し訳ない言い方と成りますが、「武雄市の文化レベルを下げる決定」であると思います。武雄市の歴史に禍根を残さぬ為の再考を、切にお願い申し上げます！</p>
72	<p>武雄市文化会館が解体されるというニュースを聞き、とてもショックを受けました。文化的な建物がなくなる、人が集まる場所がなくなる、そして街は寂れていくんだなあと思い、とても悲しい気持ちです。市長さんが経済的なものだけで判断されたのであれば、もう一度検討していただきたいと思います。この時代に無くしてしまえば、また作るということは、不可能です。未来の子どもたちのため、元気な高齢者のためそしてたくさんの市民のために文化会館存続を切に希望します。</p>

73	<p>5月21日にこの件についてパブリックコメント差し上げていますが、現在、武雄市議会が開催中であり、そこでの市側の発言で前回のパブリックコメントで述べたことに対するさらなる懸念が生じていますので2度目の提出となっています。まず、この件について広く意見聴取を文化課が行ったとされますが、私は全く知りませんでした。私もそれなりに武雄市には関わっているつもりですが、私が知らなかったということはおそらくは多くの市民は知らないところで決定されたということとと思っていますので、そこは謙虚に省みていただければと思います。実際に、私の診療所の患者さんも「先生！新聞報道で知った。私は絶対反対ですからね！」と語気を強く意見される方もいらっしゃいます。そしてさらに驚いたことは、武雄市文化会館大ホールを廃止するにあたり、現有の施設を機能強化することで補うと説明してありましたが、議会中の答弁で、その具体的なことは今後の検討課題であり、その際は広く市民の意見を聴きたい、とありました。機能強化できる目は今はなく、今後検討ということにびっくりしています。であれば、いったん武雄市文化会館大ホールの今後については立ち止まって考える、という段階で止めておいた方がよいと思います。廃止案については、武雄市文化会館大ホールが果たしていた具体的な機能を現有施設、あるいは新しくできる文化交流施設で強化できるということを示した後でよいと思いますがいかがでしょうか。</p>
74	<p>私も小さい頃から武雄市文化会館には映画を見に行ったり、演劇を見たりして育ちました。大人になってからNHKのど自慢の予選会、本戦に出たり、消防団の出初式、成人式、物産祭りなど沢山の思い出があります！市の中心のシンボルでもありました！今回、小ホールの取壊しが決まり、大ホールが残る予定でしたが解体が決まり、それに変わるホールが立ってくれる事を願っています！大ホールではなくても中ホールくらいのを作って頂きたい！！そして、これからも武雄の文化施設の中心として武雄市文化会館が市民の方々に愛されて憩いの場所になってもらいたいです。財源の問題もあると思いますがこの場所は色んな資金、補助金、財源使っても作ってもらいたいです。</p>
75	<p>今市民の税金を使おうとしている私立の大学建設は、市民にとって大してメリット無いし、少子化進行しているご時世に高校生にとっても(議員さんが考えているほどは)魅力を感じられず、まだ認可も正式においてない私立大学の設置(しかも武雄市におんぶに抱っこ状態での無謀な計画)に私達の税金を使って欲しくない。今まで武雄市の文化発展と地域住民の交流の場として大切にしてきた文化会館大ホールを、更に活用する様な案も出さずに、コロナ禍で収入が減った(減って当たり前でしょう)のを理由に切り捨てるのは考えられない暴挙です。パブリックコメントも地味に出して、そこからスマホで公募用紙を開こうとするとともに用紙ではなく書き込めないものを提示(わざと書き込めない様にしてるのではと思うようなファイル)して、短期間で公募終了というのは、市議会が全く市民の意見を聞く姿勢を持たずに議員さんたちだけで決めていっているように思えてなりません。大学問題にしても文化会館大ホールにしても、市の姿勢がこんな風であれば市税はもう払いたくないです。</p> <p>武雄市文化会館は廃止にせず建て替えか耐震補強で残してください。武雄市民にとって今後の文化の発展のためにも交流の為にも絶対必要です。コロナ禍で収入が減ってるのを理由に、施設の有効活用について何の対策もしないまま廃止するとは受け入れられません。市民の血税をまだ許可も下りていない私立の大学建設などに使って欲しくない。これから少子化が益々進む中、受験生にとっても大して魅力を感じない小さな私立学校に税金や土地を使って何になるのですか。大学が失敗した時に誰が責任とるのですか。今市民の文化発展交流の場であり、今後の観光事業に必要な文化会館に税金は使って残して頂きたい。</p>
76	<p>私は■■で市議会議員を務めており、日頃から自治体経営や公共施設のマネジメントに関心を持っております。その立場から見ても、今回の武雄市文化会館大ホールの廃止・解体という方針は、公共政策上の視点から極めて疑問の多い判断であると感じています。まず、文化施設は単なるハコモノではなく、地域住民の学びや表現、交流の場として重要なインフラだと思います。維持管理に費用がかかるのは事実ですが、それを理由に一方的に廃止の方針へ舵を切るのであれば、代替機能の設置、稼働実績との比較、何より市民との合意形成プロセスが不可欠です。そうした基本的な説明が十分に尽くされていないまま、既に「解体ありき」で進行しているように見える今回の展開は、地方行政としての説明責任を欠いている印象を受けます。</p> <p>さらに指摘させていただくならば、貴市が武雄アジア大学構想に対して13億円もの公費を拠出していることと、今回の大ホールの改修を「費用対効果が見合わない」として断念していることは、政策的整合性の観点からも説明が求められます。将来投資と、日常的な市民利用施設への支出がなぜこのような優先順位となったのか、財政運営の考え方としても納得しがたいものがあります。私は、自治体の投資判断は「見える価値」と「支えられてきた実績」の両方に基づいて行われるべきだと考えています。大ホールは、長年にわたって地域の文化活動を支えてきた施設であり、そこに蓄積された価値は、単年度予算の論理だけで評価できない価値ではないでしょうか？ 今回のパブリックコメントに寄せられた意見については、個人情報除いたうえで広く公開し、市民的な議論の素材とすべきです。意見を「募集した」という形式だけではなく、「どう反映したか」という結果責任まで丁寧に示すことが、貴行政に対する信頼につながると確信しています。武雄市が長年築いてきた「先進的な自治体」の評価にふさわしい意思決定プロセスを、ぜひ今こそ見せていただきたいと強く願っています。</p>

77

大ホールの建て替えは、しないと決まったのですか？トイレの改修工事して5年も経ってませんよね？あれはもったいないです取り外してほかの公共施設に有効活用してください壊す方向性については、理由などもデータの根拠を出して明記されていますが今後の文化活動については、まったくビジョンが見えません何も考えておられないように感じますし、このパブリックコメント欄の案内も、とてもわかりづらく意見を募る意志が見えないのは非常に残念です武雄市のLINEも登録していますが、パブリックコメントの募集についてはひとことも、ありませんでした。SAGAアリーナやサクラがあるから、武雄市には、文化施設は要らないということ市長も、負債を後世に残したくないとの発言もあったようですがたけお音楽祭では、■■■が、北方公民館では全員でステージにあがれないためミサとサギにわかれて演奏されました ステージが狭いんです吹奏楽メンバーが全員でステージに乗れないなんて屈辱だったと思います。また、ハローワークの主催の新規学卒求人説明会が毎年開催されてきましたが今年は、やむなく北方公民館を使用やはり、キャパシティが足りず一日2回の入れ替え制で、午前と午後で二度開催となり、学校側との交流ができずとても不便でした武雄市が真ん中なので、武雄でやりたいという時に施設が無いのは致命的です文化事業の観点だけではなく、公共施設としての役割を考えていただきたいと思います災害時の避難場所としての役割も大きな箱は重要です。スポーツパークだけでは足りないし、北方公民館は水害時には、使えなくなることも考えておかないといけません佐賀市文化会館の中ホールくらいの規模であれば、とても利用しやすいのでは？と思います。大ホールではなくても、もともとの予算に近い規模で作れるサイズで検討できるかなど再考を望みます

78

1. 市民や利用者への説明について

5月15日の佐賀新聞に大ホール廃止・解体の記事があがり、利用者として大変衝撃を受けました。そしてその後のホームページのこれに関する記事や、今回の6月議会の答弁などで繰り返される市役所や市関係者からの「広く市民に説明し理解してもらった」という釈明に、大変強い憤りを感じています。昨年12月の議会で大ホールの今後について、長寿命化以外の方針も含めて立ち止まって検討すると市長が答弁したことにも驚いたのですが、その後1月28日に文化サークルの関係者に大ホール整備方針見直しにかかる意見聴取をしますという案内をいただきました。これには私を含め多くの利用者、関係者が参加したのですが、その場での市側の説明は廃止解体ありきでの話で、その内容もとても納得のいくものではありませんでした。これまでおそらく1-2年かけて文化会館の整備方針について何度も話し合いが持たれ、従来の小ホールとミーティングホールは多目的ホールに代替えし、大ホールはそのまま残す、休業中は北方文化ホールで代用する、という認識を皆持っていたのが、突然に大ホールも廃止すると言われ、さらにその理由として物価高騰により工事費が高騰し予算がない、ということのほかに、「SAGAアリーナと鹿島SAKURASがあるから大ホールは不要」「利用率が低下している」「専門家がこの規模は武雄市には大きすぎる」といった説明がなされました。「SAGAアリーナと鹿島SAKURASがあるから大ホールは不要」とのことですが、長寿命化の方針となった際には「SAGAアリーナと鹿島SAKURASがあるから武雄にも（これらに負けないくらいの）ホールが必要」と理由づけされていたと思います。利用率の低下についても然りで、長寿命化の方針となったときからデータは変わっておらず、低下があるが再整備して利用率を上げる努力をしましょうという認識だったはずで、同じ内容の話をしているのに方針を変える理由になるとは、とても私には理解できません。また、大ホールの規模が市や周囲の人口に対して大きいことについては、現在の人口減少も鑑みて妥当な判断だと思いますが、専門家の話は一般論であり地域ごとの事情を考慮した話ではないと認識すべきです。このことを以て大ホール廃止解体、代用はリフォームした北方文化ホールで、とは、簡単にはいかない地域の事情があります。これについては後述します。

さて、このようなとても理解に苦しむ説明が続く中で、意見を述べよと言われ、当意即妙に何か打開案を示せる市民がいるわけもなく、結局は参加者のガス抜き程度の話が出たのみであったにも関わらず、会の終わりに市側から「これでみなさんのご理解は得られました」との発言がありましたので、フロアからは「話は聞いたが理解はしていません」と意見が出たのですが、結局はこれも理解したという話にすり替えられているようです。私個人では、この事案に関する説明が少なすぎる、今後どのような方針へ転換することになるとしてもそのプロセスは都度明らかにしていっていただきたいとお願いしたつもりでしたが、結局は突然解体決定の新聞記事が5月に出るまで、まったくこの件についての情報に触れることはありませんでした。大ホールに関わる人間は私のような音楽関係の利用者のみでなく、多くの催事の主催者、まちづくり協議会などの皆様がいらっしゃるとは理解しているつもりですが、それでも大ホールの特性や利用される催事の内容などを考えますと、利用者の声もまた尊重されるべきではないかとも思っています。しかしながら、6月議会で多くの議員からの質問もあり、これまでの状況についてやっとある程度時系列的に明らかにされ市側から利用者へ説明をしていないという言質も残りましたので、今後市民や利用者の声はきちんと市側に届き、見直しなり説明会なりが繰り返し行われ、これらの声が広く反映された方向性が示されるものと期待しています。

2. 大ホールがなくなることの影響について

まず、大ホールがなくなるとできなくなる催事として、吹奏楽、オーケストラの公演が一番にあがると思います。今年のたけお音楽祭は北方文化ホールでの開催でしたが、吹奏楽はアンサンブルにわかれてしか舞台上に立てませんでした。そのほかみささぎ吹奏楽団、武雄高校吹奏楽部の定期演奏会は鹿島市のSAKURASで行われていました。武雄に拠点をおく吹奏楽団が隣の市でしか公演できない現状はいかがなものかと思えます。また私が所属する■■■は毎年秋に定期演奏会を行い、昨年は北方文化ホールをお借りしましたが、舞台が狭くフルメンバー50名と一緒に舞台上に立つことはできませんでした。議会答弁では北方を改修して対応すると言われていましたが、音響、照明、舞台などは改修しても従来の小ホールの機能も備えられないと思われませんが、どうなのでしょう。ケーブルワンスタジアムで補完できる催事は種々の式典などがあろうかと思えます。しかしやはりホールとは根本的につくりが異なりますので、こと芸術系の催事を行うことは難しいでしょう。少なくとも、市内の文化団体が近隣の市町のホールでしか公演ができないという事態は、武雄市として回避すべきだと思います。音楽関係者としては、音響家が選ぶ優良ホール全国100選にも選ばれた武雄市文化会館の大ホールを、貴重な財産として残す努力をしていただきたいと思うのですが、どうしても残せず解体やむなしとなったとしても、ひとまわり小さいとしてもフルオケを呼べる規模のホールを作り、市民の知財を維持してほしいと願います。

3. 北方文化ホールの利用について

昨秋に■■■が定期演奏会を行った際に北方文化ホールをお借りしました。演奏会は従来とは違えど小さいホールならではのアットホームなステージだったとご評価いただきました。一方で、利用者として強く地域事情を感じたところもあり、いまだに団の会議では他の市町のホールでの開催も検討課題に上がる原因となっています。今回の文化交流施設整備事業について、小ホールを廃止解体することと大ホールの利用休止中には北方文化ホールで補完すると説明を受け、その利便性について、ある程度低下することは覚悟していましたが、立地の問題もさることながら、運用面での壁を強く感じました。もともと北方文化ホールは武雄市と北方町が合併する前に北方町が作ったものですが、そのなごりは思った以上に強く、実際には今も北方町民最優先で運用されている印象です。我々が定期演奏会の前月にホールの空きがあると思われる日にちで練習をさせてほしいと予約をお願いしたら、北方町の文化祭があるのでその一ヶ月は丸ごと北方町民のために確保しておくのが通例なのとこのことで舞台練習ができませんでした。大ホールはステージの空きがあれば借りられましたし、ハワイエや他の部分での利用があっても夜だけなら練習しても良いなどの融通をきかせてもらったものです。

北方文化ホールについては今回の解体問題に関わらず、大ホール小ホールが使えない現状を考慮した運用をお願いしたいのですが、武雄市の事情でこれまでの利便性が損なわれることを町民のみなさんがどこまで受け入れていただけているのか、市側はこれについて北方町のみなさんに理解を得られたとお考えでしょうか。今の代替え利用でもこの事態ですから、大ホール機能を北方に移設するとすると、物理的な無理も多々あることながら、このソフト面の問題は、予算をつけたから、改修してきれいにするから、だけでは解決しない住民事情があることをしっかり把握しておいていただきたいと思えます。私が雑多に思いつくにしてもこれだけの問題があります。今回予算面については触れませんでしたから、もっともっと多くの問題点があることは想像に難くないです。しかし一番気になるのは、最初にも書いた通り、市民や利用者への説明が圧倒的に不足しているということです。市長が言うように全員が納得するこたえなどないことは承知していますが、説明を尽くしてもらったという思いを市民が持てるように市側が務めることは、正解を出すことより大切なことですし、より簡単なことです。市民を、利用者を、置き去りにしないでください。

79

武雄市に音響の良い大ホールがあるとう事で、他の地域との差別化が図れていると思います。今現在の稼働だけをみるのではなく、より他の地域との差別化を図り、大人数の座席数のある文化施設を持つ武雄市を強みとして全面にアピールすべきだと考えます。私は佐賀市在住ですが、武雄には大きなホールがある事で、武雄の大ホールのイベントに幾度となく参加しています。その帰りに物産館や近くのお店に立ち寄って帰っています。体育館などの人を集める事はできる施設は他にありますが、大ホールだからこそその芸術文化等の楽しみ方は他には代えられません。一度壊してしまって、またはもう作れません。武雄の大ホールを残す事を強く望みます。

80	<p>既に一度パブコメを提出しておりますが、議会を傍聴し改めて意見を提出します。解体後の大ホール機能の維持について市長からも他施設の質を上げて対応するとの回答がありました。具体的に音響を改善するとか、北方文化ホールの舞台を広げるなどの提案もありました。もし大ホールがなくなっても、文化・芸術のための機能を備えたホールを残していただける構想だと聞いて少し安心したところです。そのようなことをぜひ市民、利用者に説明し双方の理解ができる結論を導き出していただきたいと思います。ただ、専門家の意見も聞かれたとのことですが、その方は何の専門家でしょうか、少なくとも芸術ホールの専門家ではないのではないかと思います。私が聞いた長年舞台関係に携わってきた人によれば、設計段階からそのつもりで作らないと、後付けでは無理ということでした。北方ホールの舞台を広げるというお話も現実的とは思えません。そういうことも踏まえて、ぜひ直接意見を聞いていただく場を設けていただきたいと思います。市長の「文化振興の流れを止めることはない」という言葉を信じて、少なくとも大ホールの機能を備えた文化ホールを残すということを具体的に決定していただくようお願いいたします。※パブコメについては市報や回覧資料にも載っておらず、ホームページでもとてもわかりにくい場所にわかりにくい標題で載っている。しかも深く入っていかないと見つからなかったのに市に電話したところ、その日の午後から、たけおポータルのトップページに出た。また、「大ホール整備方針の見直し」は5月30日付で載せられたものであり、少なくともパブコメ期間はここから起点とすべきと思われる。紋切型に「当初から30日間」との答弁にはちょっと驚いた。市民にあまり知らせないうちにやっってしまうと思われるのではないかと疑いたくなる。</p>
81	<p>「50年後に楽しみたければ、木を植えよ100年後に楽しみたければ人を育てよ」これが武雄の先人たちのスタンスだったと聴きます。将来、有形、無形の形で必ず市民の心の中に還元できると自信を持って文化にお金をかけてください。子どもたちに学資を出していることと同じだと考えます。</p>
82	<p>1. なぜ急に解体の方針になったのですかトイレもきれいに改修されてたのに 2. 大ホールがなくなったら ①成人式敬老会公民館まつりの行事はどこで・・・ケーブルワン・スポーツパークは舞台がない ②すばらしい音響設備があるのに音楽の発表の場は～ 3. コロナ下で使用回数も減少はしたけど、新文化交流施設、多目的ホールで300席で何が出来るか不安です。 武雄市の中心で他の町へ移動して参加するのは・・・</p>
83	<p>大ホール（舞台、客席）施設の廃止には反対します。 1. 武雄市の中長期構想の中で、「存続」という位置づけから、一転して廃止の方向？ ・教育施設の改廃について「どの組織機構」で協議されたのか、文化会議なのか、公民館運営審議会なのか、社会教育委員会なのか・・・周知されていないのでは教育委員会なのか、いつ協議されて、それを市民にいつ公表されたのか 2. これまで50余年築き上げられ、全国から「芸術文化の武雄市」として、憧れだった「武雄市」が、その活動の拠点だった「武雄市文化会館大ホール」を無くせばどういうことになって行くかということ、真剣にどれぐらいの期間十分に「協議検討」されたか？ 3. 文化芸術は弱いもので、築くには長い長い年月が必要でも、消し去るのは一瞬です。 4. 経済対効果で文化芸術は測れない！どこに入場料収入で施設維持費がペイできていたり、黒字になっているの公設文化芸術施設がありますか？芸術文化をつぶれないよう手助けして守るのが、市や町ではないでしょうか素晴らしい文化や会場での演奏は、市民や入場者、お一人お一人の心の中に、しっかりと残るものと思います。</p>
84	<p>ケーブルワンテレビを見ていたら、市議会議員さんの質疑が行われていました。そこに文化会館の大ホールが補修されず解体されるかも知れない事を知りました。今小ホールが解体されなかなか新しい工事が始まらないなあと心配していましたが大ホールまでどうなるのでしょうか。子供達的生活発表会、合唱コンクール、武高の文化祭、公民館祭り又エンタメの方々の興行が出来なくなる事です。武雄市は文化都市構想があったはずで。市民の皆様へ市報で周知をお願いします。皆の意見を聞いてほしいです。</p>

85	<p>武雄市のブランドイメージ内ポディコピー「あったらいいな」を、つくるんです。「できるといいな」を、やるんです。「こうしてほしい！」を「こうしよう！」と考える。「あるモノ」を活かして「ないモノ」をつくる。それ武雄の得意とするところ。市民で意見を出し合って、市民で解決策を見つけ出す。一人ひとりが武雄の顔であり、武雄の代表なのだから。オール武雄は、全員アイデア、全員アクションでいきましょう・・・（以下略）とっても素敵なコピーだと思っています。ですから、今回多数寄せられるであろうこのパブリックコメントもぜひ“市民の声”として届いて欲しいと願っています。大ホール棟の改修は長寿命化の前提で新施設エリアの話が進んでいましたが。廃止・解体への方針転換を突然知らされました。その前に各団体へのヒアリングの場はあったようですが、そこで出された意見にはどのようなものがあり、またその声はどのように検討・反映されたのでしょうか、市民はそれを知る術がありません。6月議会で議員さんの質問に対し答えられていた経緯などもよくわからず当初前提としていた内容が全く違うものとして提示された事への不信感があります。（特に説明の場やHP他でのアナウンスがありませんでした）利用状況の減少は途中コロナ禍もあり単純な比較は出来ないと思いますし、近隣に新たに出来たと示された鹿島市文化ホールやSAGAアリーナは、音響の状況や距離など大ホールの機能と比較しても代わりにはなりません。大舞台での芝居やコンサート、音響や照明が必要な音楽系の催しなど、現在の北方文化ホールやケーブルワン・スポーツパークではとても代わりにはなりません。武雄市民、これからの子ども達が良質な催しに触れる機会が失われてしまうと思います。長寿命化の前提を変えて廃止解体とするのなら現在計画中の多目的ホールの設計見直しなど具体的な案を同時に示して頂きたいと思います。壊してしまってから、そのあたりがうやむやになってしまうのではないかと不安です。「文化のまち武雄」をこれまででもずっと大事にしてきた歴史と、これからも推進していくと示しているのであれば、施設の手直し程度で（※例えば発言にあった北方文化ホール改修で本当に同程度の機能規模が出来ると考えていらっしゃるのか北方自体も寿命が近づいていると聞きました）代わりにならない現状はきちんと踏まえた上で、対案を示していただきたい。物価高騰の状況も十分にわかります。性急にコトを進めずにもう少し丁寧に市民に知る機会を頂けませんでしょうか。ホール機能を持つ施設はぜひ「武雄市に」残して欲しい。環境はとても大事です。どうぞよろしく願いいたします。</p>
86	<p>大ホール（舞台、客席）施設の廃止には反対します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.武雄市の中長期構想の中で、「存続」という位置づけから、一転して廃止の方向？ ・教育施設の改廃について「どんな組織機構」でこれまで協議されたのか文化会議なのか、公民館運営審議会なのか、社会教育委員会なのか 教育委員会なのか、いつ協議されて、それを市民にいつ公表されたのか十分な周知期間もとられたのか（私は急なお知らせに感じました） 2.これまで50余年築き上げられ、全国から「芸術文化の武雄市」として、憧れだった「武雄市」が、その活動の拠点だった「武雄市文化会館大ホール」を無くせばどういうことになって行くかということ、真剣にどれくらいの期間十分に「協議検討」されたか？ 3.文化芸術は弱いもので、築くには長い長い年月が必要でも、消し去るのは一瞬です。 4.経費対効果で文化芸術は測れない！どこに入場料収入で施設維持費がペイできていたり、黒字になっているの公設文化芸術施設がありますか？芸術文化をつぶれないよう手助けして守るのが、市や町ではないでしょうか素晴らしい文化や会場での演奏は、市民や入場者、お一人お一人の心の中に、しっかりと残るものと思います。

87 武雄市公共施設等個別施設計画（全体編）の一部改訂について、以下のとおりパブリックコメントを提出いたします。現在の状況を考慮すると、今後の武雄市の対応は下記のように推移する可能性が高いと考えます。

① 文化会館大ホールの解体方針について、市議会6月定例会において批判的な質疑が相次いだこと、現在実施中のパブリックコメントの影響を受け、解体の方針はいったん取り下げられ、「今後の検討」といった曖昧な状態に移行することが予想されます。ただし、「活用を前提とする維持」と明言される可能性は低く、その判断は②の大学構想との財政的な関係に大きく左右されます。

② 武雄アジア大学については、文部科学省から「不認可」の方針が示された現段階において、今後再申請を行うか否かを含め、「検討段階」にとどまるとみられます。特に来年には市長選挙が控えており、小松市長が政治的イシューとなりうる本件について明確な判断を避け、曖昧なまま放置する可能性は極めて高いと考えます。

②' 万一、大学が再申請を経て認可されることになれば、大ホールの維持に充てる財源が枯渇し、「やはり解体へ」と舵を切る展開も十分にあり得ます。ただし、その判断も市長選前のタイミングを避けるかたちで先送りされる可能性が高いでしょう。

以上のように、大ホールも大学も「検討」の名のもとに実質的な判断を回避し続ける状態が続けば、武雄市政は意思決定が停滞する漂流期に入ることになります。そして、そのツケは、洪水対策、子育て支援、公共交通といった市民の暮らしや命に直結する施策に回ってきます。判断を先送りすればするほど、財政も人員も余力を失い、必要とされる施策が後手に回ります。今回のパブリックコメント実施後、武雄市が迅速に政策判断を行う認識をお持ちかどうか、併せて、そうであるならば「いつまでに次の判断を示すのか」、仮にそれが示せないのであれば、その理由も含めて明らかにしてください。また、今回のように重要な方針変更に関するパブリックコメントについては、市民から寄せられた意見を一言一句改変せず、個人情報を除いた上で全文公開することが不可欠です。併せて、寄せられた意見に対する市としての見解や対応方針も、誠実に公表するよう求めます。当該パブリックコメントの結果および市の回答の公開に関する具体的対応についても、お答えください。

88 武雄市文化会館・大ホールの解体方針が、これまでの「改修による維持」から一転して突如示されたことに、強い違和感と疑問を抱いています。方針転換に至るまでの過程では、市民や利用者団体への丁寧な説明や意見聴取が十分に行われておらず、政策決定の透明性と説明責任が著しく欠けていると感じます。小松市長は6月の定例会で「将来の子どもたちに負担を残さない」との理由から解体を選択したと説明されましたが、その一方で、文部科学省の認可も得られていない「武雄アジア大学」に対しては、市有地を無償提供し、13億円もの財政支援を決定しています。市民生活の優先度が高い分野には予算が割かれぬ一方、不確実性の高い大学構想には多額の税金が投じられるという判断は、財政運営上も政策判断上も一貫性を欠いています。さらに、副市長の増員による支出増、スポーツ施設の利用料値上げ、学校給食無償化や陸上競技場改装の消極的対応、治水対策の地域格差など、市民が直面する課題には十分に配慮されていません。こうした状況の中、私は過去、ある市幹部の方から「市民はどうせ難しいことはわかりませんからね」という発言を耳にしました。これは、民主主義を支える市民を軽視する極めて問題のある姿勢であり、断じて看過できません。以下の対応を強く求めます。

- 1 文化会館大ホールの解体方針については、市民参加による再検討を迅速に行い、可及的速やかに善後策を構築すること。
- 2 本パブリックコメントで寄せられたすべての意見を、公正に公開し、市としての見解・対応も併せて明示すること。
- 3 文科省認可を見通せない武雄アジア大学（仮称）への13億円支出計画（債務負担行為）を即時取消し、市有地の無償貸与も中止すること。
- 4 武雄アジア大学への支出を想定していた財源を、教育、福祉、防災、文化など市民生活に直結する分野へ再配分すること。
- 5 市民を軽視するような姿勢を直ちに改め、主権者としての市民の声を尊重する開かれた市政運営を徹底すること。

誰のための市政なのか。今一度、その原点に立ち返っていただくよう要請するとともに、上記対応について明確にご回答ください

89

昭和42年に武雄市橘町で生まれ18歳まで暮らし、現在は東京都民です。現在は、老親の介護などもあり、年に3～4回帰省しており、年のうち約1月を武雄市で生活しています。都市地方計画、住宅政策のシンクタンク業の会社を経営し、国交省などの政策立案に係る調査、また、建築系専門メディアへ建築・地方創生記事の執筆を行っています。

【市民の文化活動の拠点としての重要性】

昭和49年建設の武雄市文化会館は、開館時「大阪フィル×小澤征爾」からはじまり幼少期からの自己の文化受容、また中高のブラスバンド部では発表の場として、自分にとっては重要な施設でした。現在でも市内の多くの小中高校生、市民にとって、同様の文化的な拠り所であると考えます。

【計画改訂理由に妥当性が無い】

見直しの理由として「近年周辺市町に同規模程度の機能を有する施設が開館」とあります。例示される8000～1万人規模のSAGAアリーナと800席規模の鹿島市ホールは、1400人規模の文化会館大ホールとは規模感に相違があり、利用形態・ニーズが異なります。加えて、武雄市民（とくに小中高校生）にとっては、他市町ホール予約確保（当該自治体住民・団体が優先）や移動を考えると、これまで行ってきた活動継続の困難は容易に予想されます。示された計画改定の理由について、妥当でないと考えます。

【市民合意プロセスの欠如】

「長寿命化」から「廃止・解体」は、突然で一方向的な「改訂」であり、武雄市民には受け入れがたいと考えます。今後、きちんとした情報開示と適切な市民合意のプロセスを図られることを希望します。

90

大ホール整備計画について、文化・芸術団体を含む市民へ適切な説明や、意見を求める場を持たずに、廃止・解体の方針を決めることに断固反対です。

・計画の進め方について

昨年12月小松市長が大ホール整備計画を「立ち止まって考える」と答弁された後、文化団体向けに説明会という形で、計画の現状が抱える問題の説明は成されたものの、その場で《廃止・解体》の可能性は全く明言されなかったと記憶しております。むしろ、市民の感情を逆撫でしない様、この表現を避けていたのであろうと推察します。その場で非常に印象深かったのは、参加者から《解体の可能性》の有無を問われた際、一貫してその可能性を示さず、《立ち止まって考える》とだけご回答され、閉会の際《この説明会をもって、皆さんにはご理解いただいたという事とします》と発言された■■■のお言葉です。この二つの発言には、大きな違和感を覚えました。しかしながら、5月に市のホームページで公開された内容としては、市民の意見を聞いた上で熟慮し、計画の廃止・解体の方針を決定したとのこと。これでは、説明会に参加した文化団体があたかもこの方針に納得しているような書き方をされたことに、大変遺憾です。

・整備計画立案時からの大幅な方針変更について

まずもって、新文化交流施設整備の立案当初より、文化会館の所有する大・小ホールのうち、より市民活動に有用性のあった小ホールを解体することに関して市民文化団体より、かなりの反発の意見が寄せられたはずであるが、すでに小ホールの解体は決定済みであるため、大ホールは残すので、理解してほしいというのが市の言い分であったように思います。これを、稼働率と価格高騰が理由とは言え、残す前提であった大ホールの整備計画を十分な説明の場もなしに廃止するというのは、いかがなものでしょうか。

・整備方針見直しの検討内容についての疑問

近年周辺市に同規模程度の機能を有する施設が開館しており、稼働率の低下が見込まれます。（武雄市HPより引用）とありますが、こちらは根拠に基づいた見込みなのでしょうか。例として挙げている鹿島市民文化ホールの向かいにはエイブルホールが、SAGAアリーナ向かいには佐賀市文化会館が並びます。それぞれのホールキャパシティの差は鹿島市民文化ホール(800席)エイブルホール(300席)差 500席、SAGAアリーナ(8000席)佐賀市文化会館大ホール(1800席)差 6200席、武雄文化会館大ホールは1340席でしたので、鹿島市民文化ホールとの差は540席SAGAアリーナとの差は6660席です。素人目に見ても、同規模程度の機能を有する施設の比較対象として、申し分ないと感じます。もし、上記引用部分の根拠が正しいのであれば、それぞれの新施設開設以降、もう一方の施設の稼働が低下したというデータがあるはずですが、こちらを市民に向けて開示していただきたく思います。

	<p>・施設の特性について</p> <p>6月市議会一般質問の際、これまで大ホールが担っていた役割を、ワンスポや北方公民館、山内町環境改善センターで担って行く旨答弁がありました。文化・芸術による使用について専門的な観点で言えば、それぞれの音響設備をどれほど整えたとしても、楽器や歌声、お芝居のセリフなど、生音が大切になる場合には大ホールに勝ることはありません。それぞれの施設にテコ入れするということは、そこへ向けても税金を投入していくことになるでしょうから、闇雲に設備の質を上げるという判断も危険だと思います。文化協会自主事業においてワンスポで、今年度のアウトリーチのプログラムである歌舞伎を上演できないかという案も出ましたが、舞台組や音響、照明まで一から用意しなければならいため、予算が跳ね上がるという話になり、これを見送りました。このように、仮に大ホール規模の催しをワンスポで担うことになった場合は、主催者負担が非常に大きくなるということもご理解いただきたく思います。新文化交流施設にできるという多目的ホールについても、デッドスペースの非常に多い多角形型のつくりや、300あまりの椅子を公演前に手作業で並べなければならないのか、そもそも施設設備が不明なため、判断材料が足りません。</p> <p>・市民感情</p> <p>佐賀新聞の報道によって事情を知った市外の文化・芸術に関わる人々からは、武雄の文化は終わったね、分かっていないね。と指摘を受け、市民として恥ずかしい思いです。武雄市の文化・芸術の中心地《武雄市文化会館大ホール》は、長く市民の誇りであり宝であったのです。しかしながら、これほどまでに愛され、これからも愛されていたであろう大ホールの改修を「未来の子供たちの負担」であるとおっしゃった市長の発言は残念に思いました。仮に、改修の道が難しいのであれば、跡地の最たる有効利用として、中規模程度のホールを作ってください。未来のこともたちに残すべきは《気軽に文化に触れられる場》＝文化ホールだと思います。</p>
91	<p>・大ホールの改修については、財政的に厳しく実現できなくなり撤去へ計画の見直しを行いたいということですが、計画変更をどれくらいの市民が知っているのでしょうか？</p> <p>新聞を見てない人、議会を見られなかった人、SNSに無縁の人…。新文化交流施設の計画（+大ホール改修）は昨年の市報で掲載されましたが、今回の計画変更を周知する必要があるのではないかと思います。関係団体だけでなく納税者の方々、将来の納税者の子どもたちが「知らなかった！」とならないように。</p> <p>・『西九州のハブ都市武雄』～人や文化の交流や住居促進と掲げていますが、有名な人のコンサートや演劇などの公演を見られる会場が地元になく、他所（佐賀市、鹿島市等）で見えてきて！ばかりでは武雄での生活に期待していた人たちが観光客も、佐賀へ鹿島へと流れてしまうのではないのでしょうか？</p> <p>・子どもたちには学校等でのアウトリーチという形で本物の音楽や文化に触れる機会を！と言われましたが、楽器の数は数種類だけ。管弦楽団規模になると学校の体育館での演奏は失礼で依頼できないと思います。つまり、ホールがないということは本物の芸術に触れる機会を無くすことになるので、中ホールの建設か、多目的ホールをもう少し大きくして音響照明等整えたものに変更してもらいたい。</p> <p>・議会で北方文化ホールの改修をと言われましたが、舞台の広さを変えることや、音響・空調…お金をかけても、アクセスの悪さ、時期によっては町民ファーストで使いづらいこともあり、大ホールや小ホールの代替えは出来ないと思います。</p> <p>場所の説明も難しいし、あと数年したら大ホールと同じ道を辿るのではないのでしょうか？</p>
92	<p>武陵祭の時や、何かのイベントがあるときは、文化会館で行っているイメージなので、印象深く、懐かしの建物という感じがあり、なくなってほしくないと思い、この件に意見を記入させていただきました。</p>
93	<p>また大ホールでたくさんの客の笑顔を見たいです。地元武雄市で市民の笑顔を見たいです。</p>
94	<p>大ホールで武高の文化祭や鑑賞会をしたい</p>
95	<p>大ホールで武高の文化祭をしたいです！！</p>
96	<p>武雄のシンボリック的存在を無くさないでください。後輩達にも合唱コンクール歌ってほしいです！！</p>
97	<p>武雄市文化会館を活動拠点としている団体も多くある中、丁寧な説明もなしに取り壊し、などといった筋の通っていないことはやめていただきたいです。私は武雄高校に通っていますが、周りの友達は「文化会館“改修”」というところまでしか認知していませんでした。武校は文化祭や吹部の演奏会の会場として文化会館を使わせて頂いており、昨年はケーブルワンスポーツパークで文化祭がありましたが、やはり音響は劣ります。“ハブ都市”を目指すのなら、芸術鑑賞を開き、人々が集まる場所となるホールが必要不可欠だと考えます。</p>

98	昭和50年、武雄に文化会館と言う県内随一の施設が完成した。当時、14才、中学生だった自分は自転車で見学に行き、その施設の立派さに驚き、「武雄の誇り」だと感じた。それから50年経ち、その施設も老朽化し、改修されると聞いた。改修すれば、以前の様にコンサート、催し、祭り、歌合戦等も再開されると楽しみに工事が終わるのを待っていた。しかし、議会を見て驚いた。取り壊して再開はしない方向で協議されているとの事！！「武雄の誇り」を無くしては絶対にダメだと思う。規模を縮小しても音響設備の整ったホールの有る文化会館を再開して欲しい！！
99	みんなの笑顔があふれるあのホールをまた見て見たいです。よろしくお願いします。
100	中ホール、小ホールの構造でも良いので、美しい緑の木々に囲まれた文化都市“武雄”からその殿堂である文化会館をなくさないで下さい。武雄のシンボル財産として大切に維持していくべき“宝”です。ぜひぜひ前向きに再考をお願い致します。
101	大ホールのとりこわし絶対反対！
102	かなり強引に進められているのがこわいです。他からの圧力でないかとかんぐりたくなります。市民の声もよく聞かず（特に利用団体）にせいに進められては困ります。なぜ、あせているのかわかりませんがよい方向ではない。練習場所は作って、発表の場を奪うやり方は市民の反感を買うことになります。
103	新幹線が停車する市に市民ホールがないのは市そのものの格が落ちます。市民ホールを活用したイベントで人を武雄によびこむこともできなければ単に乗り換え駅になってしまう。稼働率を上げるのは文化課の使命。全国、全世界から音楽・演劇・講演会・その他をよびこむ活動が必要。文化にうとい職員じゃそれはできないから専門のスタッフをやとうべきだ。その後に地元アマチュア集団の利用がある。ホールがない街を考えたらなさない。今ここで建直ししなければ将来また建てるのはもっとむずかしくなると思います。（市外の者ですが・・・）
104	大ホールには素晴らしい思い出が、たくさんの人々の思い出がつまっています。中学校や高校生による合唱コンクール、吹奏楽部による演奏や発表の場でもありました。大ホールに立って歌う、文化的な体験は、ずっと心に残っています。また、生のクラシックコンサート、観劇など多くの人々の心の寄り所である、地元の誇りでした。集客や費用など大変な事はあると思いますが、武雄の文化をどうか守って頂きたいと思います。どんな形であっても良いのでホールをどうか残して頂きたいです。
105	令和4年7月～令和7年1月迄新文化施設エリア整備基本計画策定委員会に参加して、とても残念に思う。「50年先を見据えて」文化会館大ホールは、昭和50年の開館以来『文化の殿堂西九州の応接室』として50年間役割を果たしてきました。市民が参加し創造する文化・芸術活動の支援、優れた芸術文化を鑑賞する機会の提供に努める。そして多世代・多文化間の交流を増やすなどして新たな文化・芸術が生まれ担い手が育成される環境を目指す。大ホールにつきましては当初、近隣に同規模の機能を有する施設がないため、耐震補強工事をはじめ長寿命化に必要な改修を行う。でしたよね。さらに市民に親しまれ交流が生まれる大ホールとしての進化を目指します。議会の傍聴を聴く事により、考え方が少し揺らぐようになり。小松市長の「子供達に負担がかからないように」この言葉には胸が痛くなりました。しかし、とても残念です。新聞紙上でみた「解体」の文字。委員会に2年6ヶ月間参加した私はショック・驚き・ビックリ・怒り・■■としては、伝統に値する位の「敬老会」行事で大ホールに大変お世話になってます。千人規模の会場を今後どの様にしていけば良いか。悩む所です。
106	文化事業が推進されなくなることへの不安を感じます。大ホールはむずかしくても、イベントのできる音響の整ったホールは必要です。（東与賀ホールのイベントをぜひ参考にしてください）私も子供のころ大ホールでの大阪フィルハーモニーの公園を聞いて、クラシックを目にすることが耳にすることができました。それから音楽に気軽に触れるようになりました。小さいころの記憶や経験は貴重です。どうか負の遺産などと考えずにホール作ってください。
107	大ホール（1500席以上）は、現実的ではないかもしれませんが、草案の300席は少なすぎます。北方公民館でもたりない場合があるので少なくとも600席の確保をお願いします。集客イベントでのチケット代や収益の配慮もご検討ください。切実です。■■の公演でも北方公民館のキャパは手狭です。
108	武雄文化会館大ホールの解体には反対いたします。芸術や文化は人間にとっては心の栄養です。大切なものだと思います。佐賀にも大ホールはありますが、高齢となっていく私達には佐賀までの車の運転の負担が大きく、佐賀で催しがあっても行くことが難しいです。武雄であれば、車で20分程度で行くことができ、催しを楽しむことができます。高齢者が楽しめる催しを増やして、時間帯は日中であればお客さんも増えて良いのではないかと思います。
109	1,000人収容できる会館が無くなるという事は佐賀まで行かなくてはならなくなります。武雄市にあったからこそ、行く事ができたのであって、無くなるという事は行けなくなってしまいます。もっと市民の声を聞いてほしいです。

110	佐賀県は何もないと言われる中、武雄市民文化会館がとりこわしとなると集まる場所、話し合える場所、人と関わる事が少なくなるともっと何もないと言われ続ける事が増える事それがどんなに悔しい事か。今まで文化会館があった事でそこに集まろうかとか言う事ができたけど・・・。とりこわしにはすごく反対です！！とり壊しはしないでほしいです。お願いします。
111	これまでにたくさんの思い出がある施設がなくなると悲しいと感じています。再オープンされるとの事が、解体とは、民意がしっかりと反映されたのでしょうか。今度しっかりと説明会等を開催し市民との合意形成を図って頂きたいと願います。
112	子どもたちへの負担と言うならば、子どもたちにもアンケートなり取るべき。子どもたちが今後税金を払っていくのだから！！
113	物価高のため予算が膨れ上がり、当初予定されていた大ホールの耐震工事が一旦中断されると聞いたとき、私は、予算をどうやって確保するかを皆で知恵を出し合われるのだと思っていました。「オッズパークの収益が上がっていると聞くから、そちらからの税収とかあるかな？」とか。「クラウドファンディングで集められるのかな？」とか。まさか解体する方向に向かっているとは思ってもみませんでした。これまで、音楽会、演劇、コンサート・・・こんなに身近で生の感動を与えてもらい、楽しませていただきました。各種県大会、九州大会・・・準備は大変だけれど、近いので交通費もかからず、気軽に大会や研修に行かせてもらえました。敬老会、公民館まつり・・・父母は80代になっても90代になっても楽しみにして見に行っていました。人生のさまざまな場面の思い出がいっぱいつまった文化会館大ホール、私達の自慢であり、武雄の誇りでもありました。今の若い方達は、その恩恵をまだそれほど受けていないのかもしれない。けれど、これからです。忘れられない思い出がたくさんたくさんできます。市は、佐賀アリーナや鹿島市民文化ホールに行って、と言われていましたが、やはり遠いです。車や交通費がいります。往復に時間がかかります。疲れます。市内の催し物はワンスポや北方文化ホールを使ってと言われていましたが、北方は市の東端。やはり市の中心にホールが必要です。ワンスポは体育館。椅子を並べるのも大変です。また、駐車場が狭い。どうぞ大ホール存続の方向で再検討をよろしく願います。
114	新聞を見て、とても驚き、その日の朝は私の周りでは、混乱が起きていました。どうか、解体するにしろ、対策をしっかりとしてください。新しくできる多目的ホール？では、今までの小ホールでしていた事もできそうにありませんね。照明・音響など。反響版もない！大ホールとは言いませんが、もう少し広さがあり、吹奏楽、合唱、演劇が、きちんとできるホールがほしいです。オシャレな外観などはいらない。北方や、体育館では無理があります。3年度に大ホールが改修されて、それまではみんな我慢して頑張ろうと思っていました。市制50周年の音楽と映像を大ホールでした時はすごかったです。見たことありますか？常に、1名しっかりとした舞台にたずさわっている市の職員の方がいました。
115	武雄市文化会館大ホールの改修工事中止・解体について反対です。市の行事、学校の行事各文化面での発表の場など長い間多くの市民の方 市外の方が利用されてきた、武雄市の大切な文化の中心のホールを改修し維持して頂きたいです。改修工事の方が新築で建てるより音響設計等、予算をおさえられるのではないですか？体育館に音響設備をつけた程度のことでコンサートホール仕様にはできません。もう1度考えて頂き、時間をかけて予算の調整など、して頂きたいです。解体すれば、元に戻らないのですから。イベントを企画準備されていた方々もいらっやると思います。宜しく願います。
116	ステージ、客席があればいいわけではありません。控え室、楽屋、トイレ、楽器庫、とん帳、ライトなどなどー すばらしい大ホールのような施設が必要です。武雄にそれがあることずっと自慢でした！！

117	<p>私は、住まいは白石町ですが、勤務地が武雄になったことから、35年前から■■■に所属し、活動を続けています。武雄市は、温泉をはじめ新幹線などを誘致しての観光、大楠や御船山などの自然、如蘭塾などの歴史や文化に恵まれていて、他町民である私は、文化や芸術にも力を入れてあっていいなあと思いつつ、合唱団員としての活動を続けています。それも、「文化のまちづくり」に力を入れてこられている武雄市のご尽力があってのことだと思っております。これまで、武雄の文化活動が、文化会館の大小を含めたホールや各施設に育まれてきたことは確かだと思っています。それが、新しい施設に建て替えられるために小ホールが解体され、小ホールが解体された後になってから、解体の前に言われていた「大ホールは残して、改修後利用できるようにする」との基本方針が覆されたことに憤りを覚えています。武雄市の「文化のまちづくり」を大きく左右する「解体」という決定についての論議が、関係団体としっかりとなされたのだろうかと思ってしまう。「解体」の方針に転換されたのがあまりにも唐突のような気がしてしまうのは、私だけではないのではないのでしょうか。新幹線の誘致のおかげで新幹線が通るようになり、大学開学も控え、若者を武雄の街に呼び込めるように働きかけているはずなのに、大ホール解体の方針は、「成長する文化づくり」「文化に関わる人づくり」「文化によるまちのにぎわいづくり」とは逆の構想であるような気がしてなりません。議会では「ケーブルワンスポにコンサートができるような音響設備を付ければいい。」「北方文化ホールの音響や設備を整えればいい。」などのお話をされていたようですね。しかし、体育館施設であるケーブルワンスポをコンサート等も行えるようにするには限界があると思いますし、北方文化ホールもかなり古い施設なので改修して長く使うのには無理があると思います。大ホール解体の方針が変えられないのであれば、もともと大ホール改修に充てていた費用や北方の改修に充てようとしている費用で、中規模のホールを建設していただくことはできないのでしょうか。「佐賀市の佐賀アリーナや鹿島市のサクラホールを利用すればいいじゃないか。」という考え方も、「文化のまちづくりを呼びかけている武雄市には、そういった施設がないので、どうぞ他の市町に行って楽しんできてください。」と言っているようなものではないのでしょうか。「それ、武雄が始めます！」の武雄市のキャッチコピーと相反する気がしませんか？ 武雄の文化をこれから衰退させるのではなく、さらに発展させていくことを願うのであれば、大ホール解体の案は絶対に再考していただくべきだと考えます。</p>
118	<p>文化会館大ホールをなくしてしまうのは、あまりにも「もったいない」と思います。景観的にも歴史的にも観光的にも大変良い立地にあります。文化会館を中心として囲りに商業施設や図書館、学校、神社などがあります。その場所から本当に文化ホールをなくして良いのでしょうか？ 今回なくなってしまうと、おそらく二度と武雄市に文化ホールは建設できないのではないのでしょうか。コンサートや演劇のみならず成人式や様々な式典講演などで利用されてきました。コロナ等で稼働率は落ちていたと思いますが、それは他県のホールも同じこと。何とか当所の予定通り、耐震工事を行い再開してほしい。</p>
119	<p>文化会館は残す！ということではなかったのでしょうか。だまされたようで残念でなりません！ 武雄の大切な文化をなくしてもよいものでしょうか？ 子供たちに残さなくてもよいものでしょうか？ 縮小されたとしてもぜひ残して頂きたいと思います。</p>
120	<p>新文化交流施設には、当初のとおり大ホール（劇場型観客席）は必要である。武雄市文化会館大ホール（劇場型観客席）の廃止・解体の判断は早すぎる。小ホール（多目的ホール）変更や説明から見ても、武雄市民の文化推進を図るため、一部の市民団体やパブリックコメントだけで無く、文化団体や市民全員有無を問うべきである。近隣周辺SAGAアリーナ、鹿島市民ホールまで行って文化推進はないと思う。又、武雄市文化会館は、全国劇場・音楽堂等総合情報サイト（全国公立文化施設）にも登録、佐賀県の劇場・ホール・会館ランキング・武雄市文化会館4位／10施設と非常に良い施設である。大ホール改修費用は、当初20.9億範囲内で緊急性の高い物から実施、数年度かけて改修検討、更に大ホールも武雄市民団体が更に利活用出来る様に利用料金のあり方も考慮と考える。</p>
121	<p>武雄市文化会館大ホールの廃止・解体とする方針は、武雄市民として戸惑いを感じる一方で、議会での答弁のように維持管理費がかかり、将来の子どもたちに負担を残さないため、ということとは理解できます。市議会の議論では、ケーブルワンスポーツパークや北方公民館小ホールを活用するとの答弁でした。しかし、■■■議員さんの意見にあったように、設備機能を向上したとしても、ケーブルワンスポーツパークでは、音楽鑑賞などは、音楽の価値を十分に楽しめるには無理があるのではと思います。大ホールは無理でも、中規模のホールを建設していただけたらと思います。もう一度、市民の皆さんの意見を聞く機会を設けていただきたいです。</p>
122	<p>大ホールの改修見直し、正当な判断だと思います。箱物は一旦作ると、後々何かとお金がかかるからです。身の丈にあった市政だと思います。</p>
123	<p>見直し案に賛成です。武雄町内の文化団体が反対されていると聞きましたが、その方たちのために使える金額ではないと思う。もっと市民全体のために税金は使うべき。文化も大事だが今ではないと感じる。</p>
124	<p>これからの武雄市を考えれば賛成です。</p>
125	<p>大賛成です。もっと他に税金は使うべき。</p>

126	大ホールを壊すことは仕方ないと思います。計画の変更は賛成です。佐賀市とか佐世保市に大ホールより大きなホールがありますが、いつもイベントやコンサートがあっているわけではないようです。今の文化会館ができた当時は九州内でも一番大きいホールだとは聞いたことはありますが、過去の話。今はだれも来ない時代遅れのホール。かといって新しく作るべきかは、あればいいと思うが、武雄市に本当に必要なかは慎重に考えるべきだと思います。
127	今回の計画変更案に賛成します。残してほしいと思う方がいるのは理解できるが、かなりの年数が経過したハコモノに費用をかけても、想定以上に費用がかかることは火を見るより明らかである。ある議員が質問していたが、北方のホールの活用を考えれば良いと思う。また北方もいずれ古くなるので、その時に本当に武雄市にホールが必要かどうか考えれば良いのではないかと。
128	見直しに賛成、今の大ホールには昔のように芸能人は来るはずがない。大ホールを残す意味もない。文化をされている人には悪いが、一般人のほとんどは同じだと思う。
129	大ホールの計画変更には賛成です。今の大ホールにお金をかけても、長く持つとは思えないし、時代遅れの建物なので昔のように芸能人等が来るとは思えない。残せばかえって修繕費が多くなり、市の大きな負担になりかねない。文化団体の方々が残すように反対されていると聞いたが、北方にも500人のホールがある。欲を言えばキリがないが文化団体の活動には十分ではないのか。一部の利用者の意見だけで市の多額の予算を使うことはさけるべき。文化も大事だとは思いますが、今はほとんどの市民が物価高騰で生活が厳しい状況。大ホールを利用してきた方には気の毒に思うが生活に余裕があってこそその文化と思う。知り合いに文化団体の方がいるので、匿名ですみません。
130	今回の計画変更で大ホールが無くなることについて賛成です。むしろ判断が遅かったのではないのでしょうか。前武雄市では文化振興を考えて、周辺や近隣にない規模の文化会館をつくられたのかなと思います。ここ最近では建物自体が古く、暗いイメージしかありません。本当に文化会館を大事にしているならば、途中で長く持たせるためのお金をかけるべきだったと思うが、今となっては一部の人しか利用しない、利用が見込めない建物に多額の費用をかけることは避けるべきと思うので、今回の判断に賛成です。一部の裕福な方々を除けば、ほとんどの市民は今の物価高で苦勞し、集落では高齢化により、これまで行ってきた区役等に負担感を持たれている方が多いと思います。安心して暮らせることが大前提です。まずは市民の生活を最優先に考えてお金(税金)を使っていたきたいと思います。
131	議会は反対しているのに市役所が決めれないと聞いた。他の件で予算のお願いをしても財政が厳しいというのはなぜか。有力者が市長に言えば通るのか。お金がかかりすぎる文化会館は反対。氏名や住所を書かせることにも疑問。
132	物価が高くなり、予算内に収まらないのなら見直しは当然の結果だと思う。今の古い大ホールを残すために29.3億かけて、さらに、その後30年で修繕費が12億かかるのであれば、新しく建て替える方がまだ良いのでは。また、維持費もかかるとなると、市の財政にも大きな負担となると書かれており、なおさら今のホールを残すことには賛成できない。武雄市に本当に大ホールが必要なのか？まちなかは良いが、そうでないところに住んでいる人はもっと生活に直接関係がある道路の整備や維持管理にお金をかけてほしい。
133	大ホール解体について賛成です。文化発表等に特化した施設をリニューアルするより大きなスペースで文化発表だけでなく、大規模会議等ができる場所にしてほしい。市内の施設が悉く大規模会場を閉鎖しており、大人数の会議が開催できない。500人以上が会議できる広い会場、プラス複数の小会議場が出来れば旧文化会館、大学、スポーツパークと隣接した大規模会合や学会なども開催することができる。また雨天時のイベント会場としても活用できれば、文化会館より効率的に活用することができる。音響等は一流ではなくても、広い会場であれば文化発表などは披露することができるのではないかと。前向きな御検討をお願いします。
134	武雄市文化会館大ホールの改修工事に関し、今般の物価高に影響を受け工事費自体が上振れし当初の目算と大きくかけ離れた金額となり、市として解体・廃止に方針を変更されたことに対し妥当な判断と思います。巨額の費用をかけて存続させても今までの稼働率では維持管理費が膨大な費用を要すると聞いています。文化団体のお気持ちは十分理解できますが、そこに巨額の税金を投資することよりもっと他の施策で市民に還元できればいいと思います。今まで、大ホールで実施していた公民館まつりの開催場所が無くなるのは非常に困ってしまいますので、現在建設中の新文化施設に代替の機能を付加されることを切に希望します。(楽屋等)
135	武雄市文化会館の大ホール解体案については、施設の老朽化や今後の維持管理の面から見てやむを得ない判断だと感じており、基本的には賛成です。ただ、今回の見直し案についての説明が少し足りないのではないかと印象を持ちました。解体後の土地の活用についての方向性や大ホールを利用されていた方々の活動の場は今後どのように確保されるのか等市民にとって大切な施設のことで、詳しい情報を共有していただくと多くの方が理解しやすくなるのではないかと。昨年「新文化施設について考えるワークショップ」に参加し、大ホールに限らず、様々な空間での文化交流を創造できる場所づくりの発想が必要だと思いました。今後の展開を楽しみにしております。

136	<p>今回の「武雄市公共施設等個別施設計画（全体編）一部改訂（案）」に了承する立場で意見を申し上げます。</p> <p>（理由）文化会館大ホールがこれまで果たしてきた功績が大きいことは多くの市民が認めるものと確信します。しかし、形ある建造物を半永久的に保存、維持することは大変難しいことも事実です。現時点で大人の我々が「今、大切だから存続したい」と思うものが、本当に次世代の市民の皆さん（特に将来を担う若い世代）にとって「本当に残っていてよかった」と思えるものになるのか？を謙虚な立場で熟慮することも今を生きる私たち市民の重要な役割の一つだと強く思います。「そんなことは、分かっている。その上で存続を願っている」と仰る方も多くいらっしゃるかもしれませんが、少なくとも私共の代わりに保存維持に関する作業工程、費用、その後の耐用年数、代替え施設の活用法等々、綿密に調査研究して下さった市当局の方々の熟慮に熟慮を重ねた結果、苦渋の決断として私共市民に提案されているこの一部改訂（案）を尊重し信頼して私は、一部改訂を了承いたします。</p>
137	<p>一部改訂（案）に賛成します。利用者の安全確保のための耐震化工事や老朽化した機械設備などの維持管理費には多額の財政支出が伴います。次世代への負担を残さないためにも、大ホールの廃止に賛成します。</p>
138	<p>大ホールが果たした役割は非常に大きく市のシンボルであったことも事実です。しかし、現在の利用状況、これからの見込みなどを考えると、取壊しも仕方ないと思います。ただ、これに代る他の施設の利用方法など具体的な提案も必要なのかなとも思います。</p>
139	<p>文化、芸術、エンタメの伝え方、実施方法も多岐になっています。これからの維持費等を考えると解体も仕方ないかと感じます。</p>
140	<p>新聞で知りびっくりしています。とても良いホールでいつも楽しみに演奏会など聞きに行っていたので・・・</p>
141	<p>宮城県の中新田バツハホールの例を参考にしてみてもは。（ホームページなど）ホールを利用して町おこしをしておられます。うまく行っているようです。</p>
142	<p>市報もなし 回らん板ものってない、誰がどうやってきめられたのでしょうか？</p>